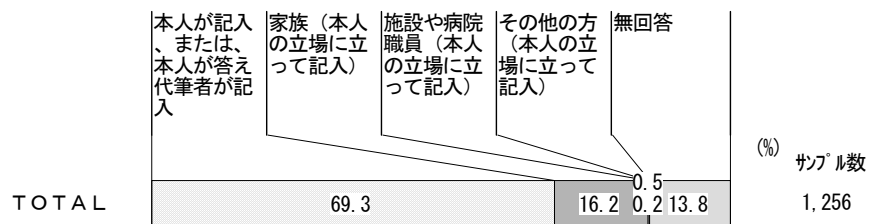


1 基本的な属性等

(1) 調査票の記入者

問1 この用紙(調査票)に記入されるのはどなたですか。(○は1つ)

「本人(宛名の方)が記入、または、本人が答え代筆者が記入」が約7割(69.3%)。

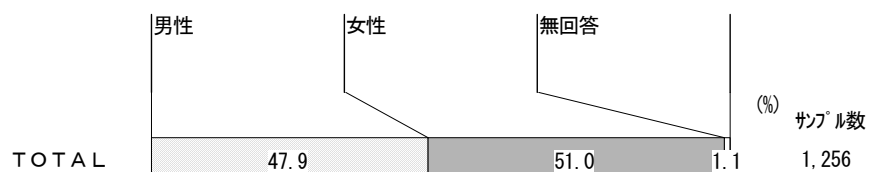


(2) 性別・年齢

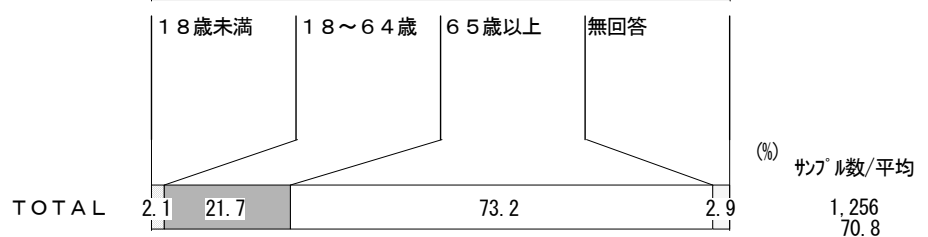
問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

問3 年齢(4月1日現在)を記入してください。

性別は、男性が47.9%、女性が51.0%。



年齢は、70代が33.0%、80歳以上が29.3%で、平均年齢は70.8歳。なお、18歳未満は2.1%、65歳以上と73.2%となっている。



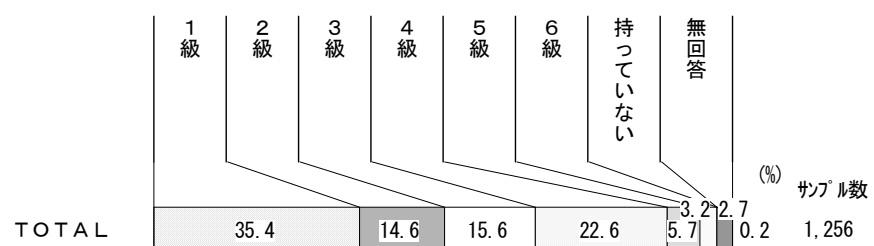
n=1,250	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答	平均
	1.4%	0.7%	1.0%	1.8%	4.0%	6.6%	19.2%	33.0%	29.3%	2.9%	70.8歳

(3) 身体障害者手帳に記載された障害の程度

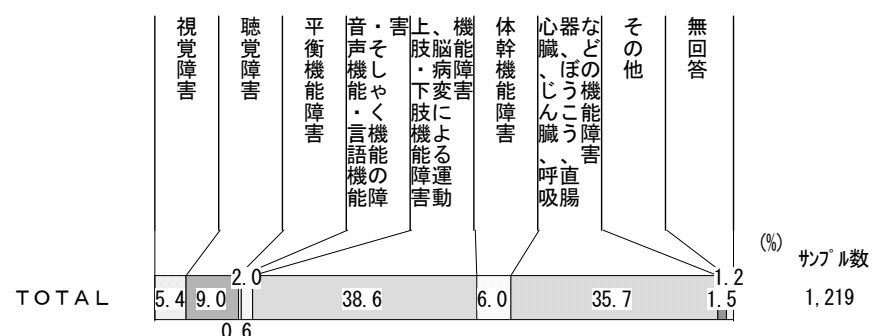
問4 身体障害者手帳に記載された障害の程度をお答えください。(○は1つ)

問5 身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。主な障害1つをお答えください。(○は1つ)

1級が35.4%、2級が14.6%と、「重度(1級・2級)」が半数を占めている。



障害の種類は、「上肢機能障害、下肢機能障害、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害」が38.6%と最も多く、次いで「心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害」が35.7%で続いている。

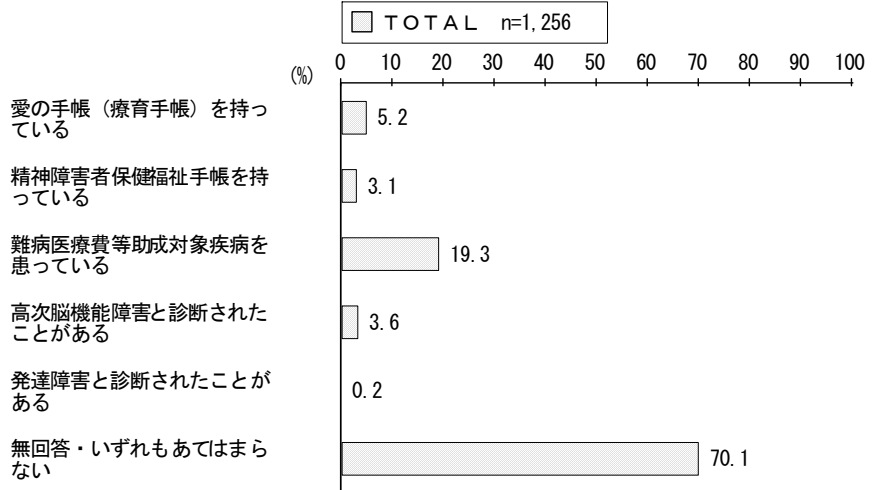


【身体障害者】

(4) 他の障害の状況

問6 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

身体障害以外の障害との重複状況をみると、「難病医療費等助成対象疾病」を患っている人が約2割(19.3%)いる。



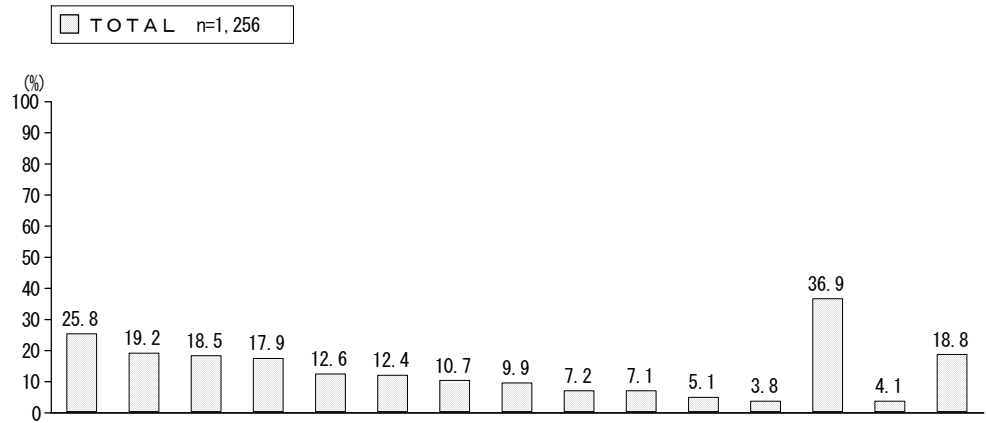
2 介助・援助の状況

(1) 介助・援助を受けている場面

問7 どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

実際に介助・援助を受けている場面としては、「外出するとき」をあげる人が最も多く、概ね4人に1人(25.8%)は介助・援助を受けている。

年代別にみると、18~64歳では、「外出するとき」に介助・援助を受けている人は21.6%、「お風呂に入ったり、身体を洗うとき」は16.5%となっている。



問3 年齢(3区分)	n	項目														
		8	4	3	12	11	5	6	10	7	2	13	9	1	14	15
0 TOTAL	1,256	25.8	19.2	18.5	17.9	12.6	12.4	10.7	9.9	7.2	7.1	5.1	3.8	36.9	4.1	18.8
1 18歳未満	27	63.0	59.3	18.5	29.6	22.2	55.6	63.0	59.3	37.0	55.6	22.2	48.1	14.8	11.1	0.0
2 18~64歳	273	21.6	16.5	14.3	14.3	10.6	11.0	7.0	6.6	4.4	5.9	6.2	5.1	46.2	4.8	15.4
3 65歳以上	919	26.3	19.0	20.1	18.9	12.9	11.6	10.3	9.5	7.3	6.0	4.4	2.2	35.1	3.8	19.6
4 無回答	37	16.2	13.5	8.1	10.8	10.8	10.8	10.8	8.1	5.4	8.1	2.7	2.7	29.7	2.7	37.8

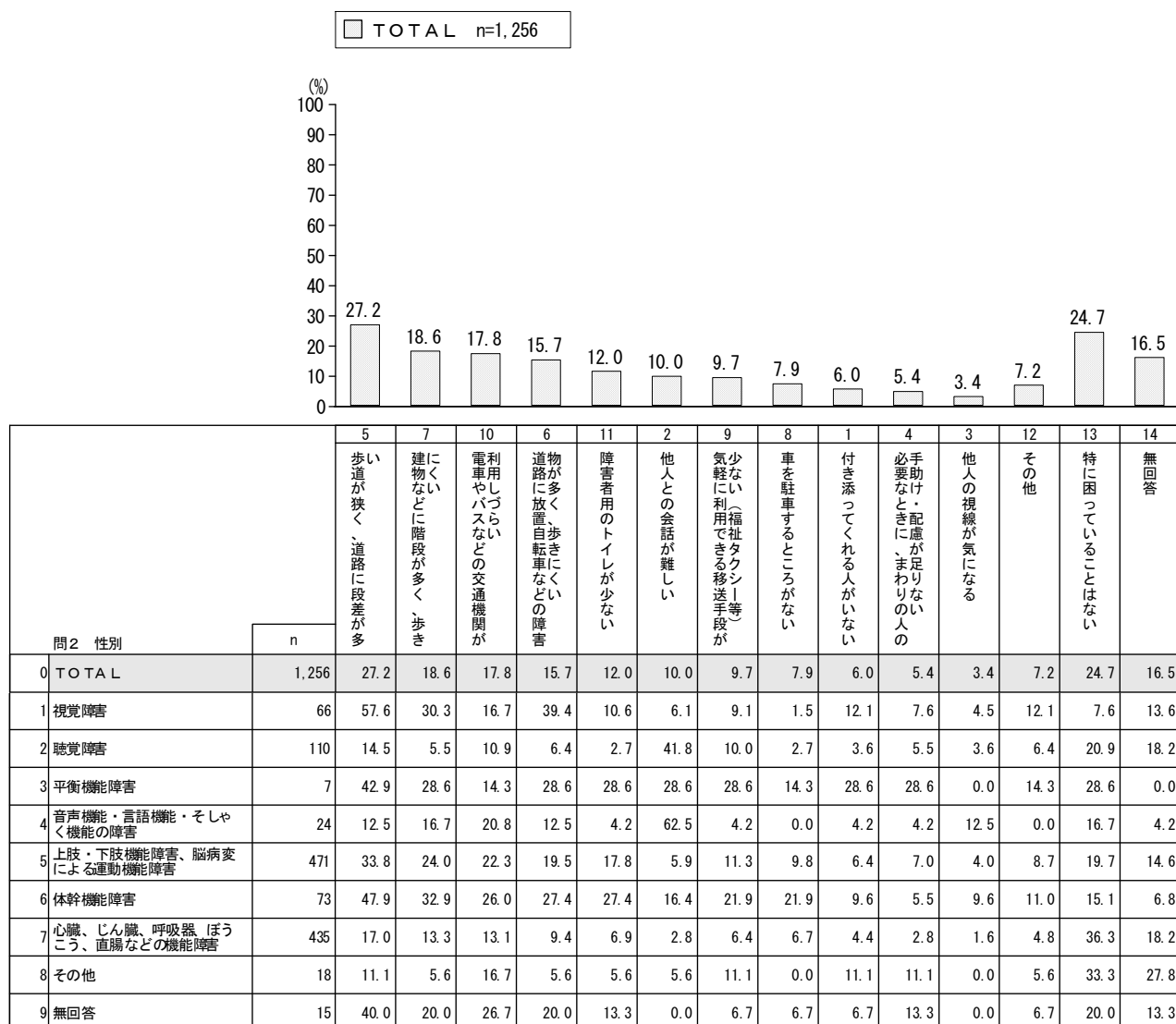
3 外出や社会参加について

(1) 外出の際に困っていること

問8 外出の際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

外出の際に困っていることとしては、「歩道が狭く、道路に段差が多い」ことをあげる人が27.2%と最も多い。

主な障害の種類別にみると、視覚障害では6割弱の人が「歩道が狭く、道路に段差が多い」(57.6%)ことで困っている。また、聴覚障害では約4割が「他人との会話が難しい」(41.8%)、体幹機能障害では3割弱が「障害者用のトイレが少ない」(27.4%)と回答しており、障害の種類によって困っている内容が異なっていることがわかる。



【参考】平成13年度調査結果との比較

上位5項目は変わらないが、いずれの項目もあげる人の割合は低下している。中でも、「建物などに階段が多く、歩きにくい」、「道路に放置自転車など障害物が多く、歩きにくい」、「障害者用のトイレが少ない」の3項目は、それぞれ5ポイント以上低下している。

	歩道が狭く、道路に段差が多い	建物などに階段が多く、利用しにくい	道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きにくい	電車やバスなどの交通手段を利用しづらい	障害者用のトイレが少ない
13年度 n=2,434	29.7%	25.0%	21.9%	19.2%	17.7%

【身体障害者】

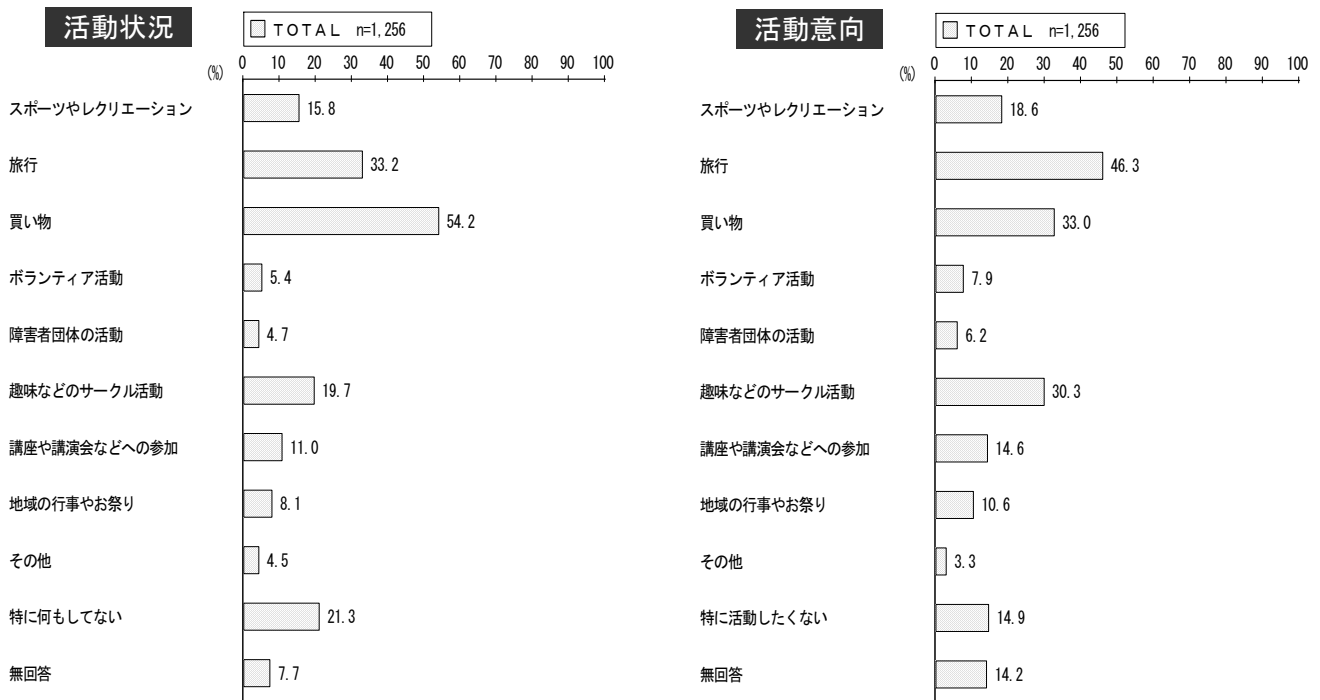
(2) 余暇活動の状況・意向

問9 この1年くらいの中に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)

問10 これからどのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

最も活動意向が高いのは「旅行」で、46.3%の人が活動したいと回答している。

活動状況と活動意向を比較してみると、実際の活動状況に比べて特に活動意向が高いのは、「旅行」(実際 33.2%→意向 46.3%)と「趣味などのサークル」(実際 19.7%→意向 30.3%)である。



【参考】平成13年度調査結果との比較

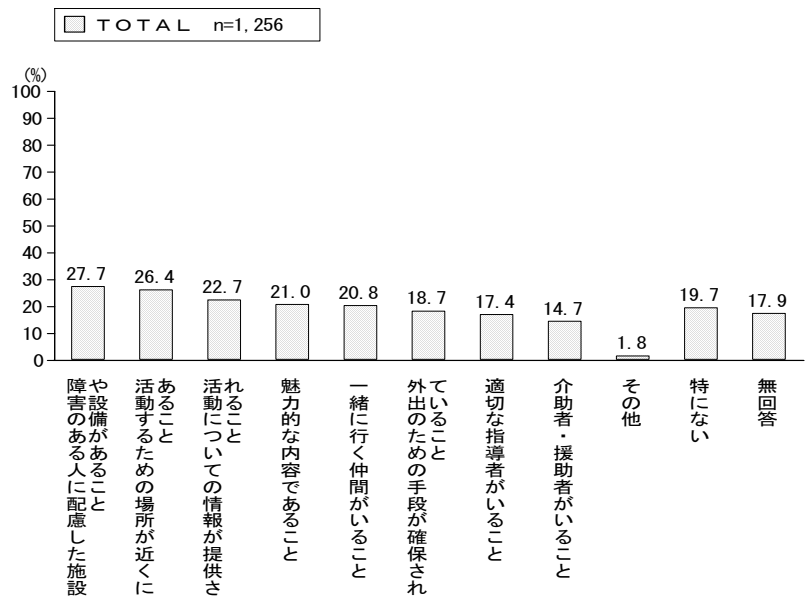
活動状況を見ると、いずれも13年度に比べて活動している人の割合は上昇している。中でも、「スポーツやレクリエーション」は6.6ポイント、「旅行」は8.4ポイント、「買物」は18.0ポイントと上昇幅が大きい。

[活動状況]	スポーツ、レクリエーション	旅行	買物	ボランティア活動	障害者団体の活動	趣味などのサークル活動	講座や講演会などへの参加	地域の行事やお祭り
13年度 n=2,434	9.2%	24.8%	36.2%	3.0%	4.6%	16.1%	7.9%	7.2%

(3) 余暇活動をするために必要とする環境・条件

問 11 問 10 のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

希望する余暇活動をするために必要な支援としては、「障害のある人に配慮した施設や設備があること」をあげるのが 27.7%と最も多く、次いで「活動するための場所が近くにあること」が 26.4%で続いている。

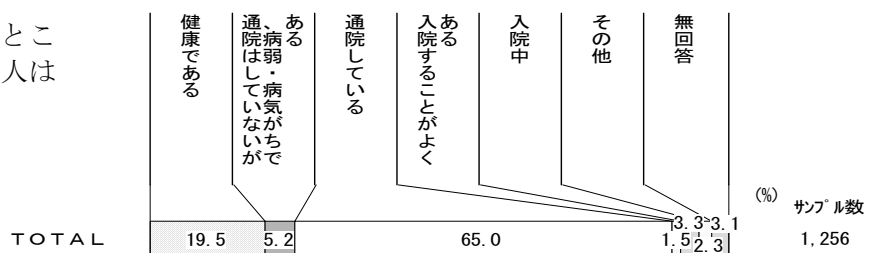


4 健康状態や医療について

(1) 最近の健康状態

問 12 最近の健康状態は、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

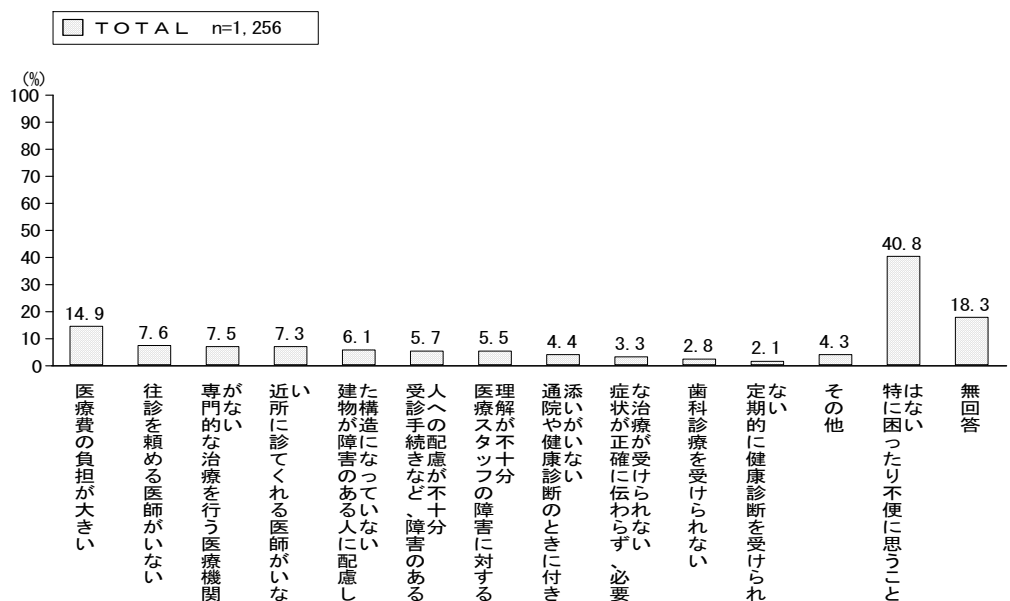
最近の健康状態をたずねたところ、「健康である」と回答した人は約 2 割 (19.5%) である。



(2) 健康管理や医療について困ったり不便に思うこと

問 13 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(○はいくつでも)

健康管理や医療については、約 4 割の人が「特に困ったり不便に思うことはない」(40.8%) と回答しているが、あげられた項目としては、「医療費の負担が大きい」が 14.9%と最も多くなっている。



5 日中の過ごし方

(1) 日中の過ごし方

問 14 あなたは、主に日中をどのように過ごしていますか。(○は1つ)

日中の過ごし方・居場所は、18～64歳では、44.3%が「働いている」、32.6%が「自宅にすることが多い」と回答している。65歳以上では、「自宅にすることが多い」人が約6割(58.8%)を占めている。

	n	幼稚園や 保育園、学 校などに 通っている	病院や施 設などで 看護・介護 を受けて いる	介護保険 のサービ スに通っ ている	福祉のサ ービスに 通っている	働いてい る	求職中で ある	自宅にい ることが多 い	その他	無回答
TOTAL	1,256	2.0%	8.0%	6.8%	2.4%	14.6%	1.4%	51.6%	3.8%	9.6%
18歳未満	27	70.4%	7.4%	-	7.4%	-	-	7.4%	3.7%	3.7%
18～64歳	273	1.1%	3.3%	2.6%	3.7%	44.3%	5.5%	32.6%	2.2%	4.8%
65歳以上	919	0.1%	9.2%	8.5%	2.0%	6.1%	0.2%	58.8%	4.5%	10.7%
無回答	37	5.4%	10.8%	-	-	16.2%	-	45.9%	-	21.6%

6 幼稚園・保育園、学校等について

(1) 通園・通学先

問 15 通っているのは次のうちどれですか。(○は1つ)

「幼稚園や保育園、学校などに通っている」と回答した25人の通園、通学先は、「小学校、中学校、高校(普通学級)」が7人(28.0%)、「小学校、中学校、高校(特別支援学級)」が6人(24.0%)である。

	n	幼稚園、保育園	小学校、中学校、 高校(普通学級)	小学校、中学校、高 校(特別支援学級)	小学校、中学校、高 校(特別支援学校)	大学、専門学校	その他
TOTAL	25	8.0%	28.0%	16.0%	24.0%	12.0%	12.0%

(2) 幼稚園・保育園、学校等に通っていて困っていること

問 16 幼稚園・学校などに通っていて困っていることはありますか。(○はいくつでも)

幼稚園や学校などに通っていて困っていることとしては、25人中5人(20.0%)が「通うのがたいへん」、4人(16.0%)が「先生の理解や配慮が足りない」ことをあげている。

	n	通うのがた いへん	先生の理解 や配慮が足 りない	介助体制が 十分でない	まわりの児 童・生徒たち の理解が得ら れない	友だちがで きない	その他	特に困っ ていること はない	無回答
TOTAL	25	20.0%	16.0%	4.0%	4.0%	4.0%	24.0%	40.0%	12.0%

(3) 学校教育に望むこと

問 17 学校教育に望むことはどのようなことですか。(○はいくつでも)

学校教育に望むこととしては、25人中13人(52.0%)が「能力や障害の状況に合った指導をしてほしい」、11人(44.0%)が「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させてほしい」と回答している。

	n	能力や障害 の状況に合 った指導を してほしい	就学相談や 進路相談な ど、相談体 制を充実さ せてほしい	個別指導を 充実してほ しい	施設、設備、 教材を充実 してほしい	普通学級と の交流の機 会を増やし てほしい	障害の状況 にかかわら ず普通学級 で受け入れ てほしい	その他	特に望むこ とはない	無回答
TOTAL	25	52.0%	44.0%	32.0%	28.0%	20.0%	16.0%	20.0%	16.0%	4.0%

(4) 介助員制度の認知状況

問 18 市では、通常の学級に在籍する障害のある児童に関して、学校生活の安定や保護者による介助負担の軽減を図るため、介助員を配置する制度を実施していますが、そのような制度があることを知っていますか。(○は1つ)

問 19 介助員制度へのご意見等があれば、自由にお書きください。

介助員の制度を「利用している・利用したことがある」人は 25 人中 3 人 (12.0%)、「制度があることは知っているが、利用したことはない」人は 9 人 (36.0%) である。

	n	利用している・利用したことがある	制度があることは知っているが、利用したことはない	知らない・わからない	無回答
TOTAL	25	12.0%	36.0%	44.0%	8.0%

介助員制度についての意見等としては、以下のような記入があった。

- ・ 介助員は指定校にしか行かないのでしょうか。希望すれば学区内の自宅近辺の普通校へも通える介助員制度にしてほしい。(男性・3歳・聴覚)
- ・ 副籍制度でも利用できるようにしてほしい。(女性・8歳・上下肢)

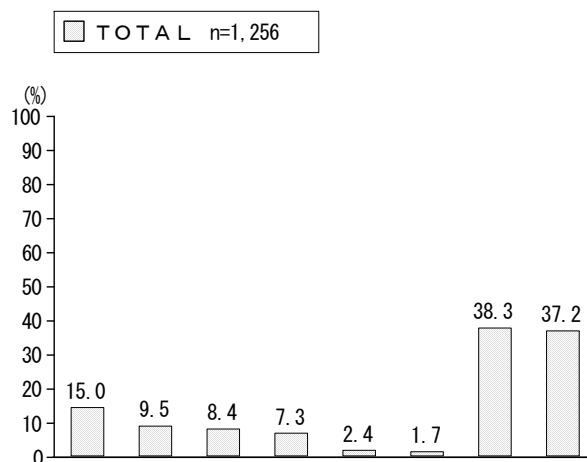
7 雇用・就労について

(1) 就労に関するサービスの認知状況

問 20 就労に関する次のサービスを知っていますか。(○はいくつでも)

就労に関するサービスの中で、最も知られているのは「田無庁舎内ハローワーク出張所による求人閲覧サービス」(15.0%)。

18～64歳では、「田無庁舎内ハローワーク出張所による求人閲覧サービス」を知っている人は 32.6%、「ハローワークのインターネット障害者求人閲覧サービス」は 24.5%となっている。



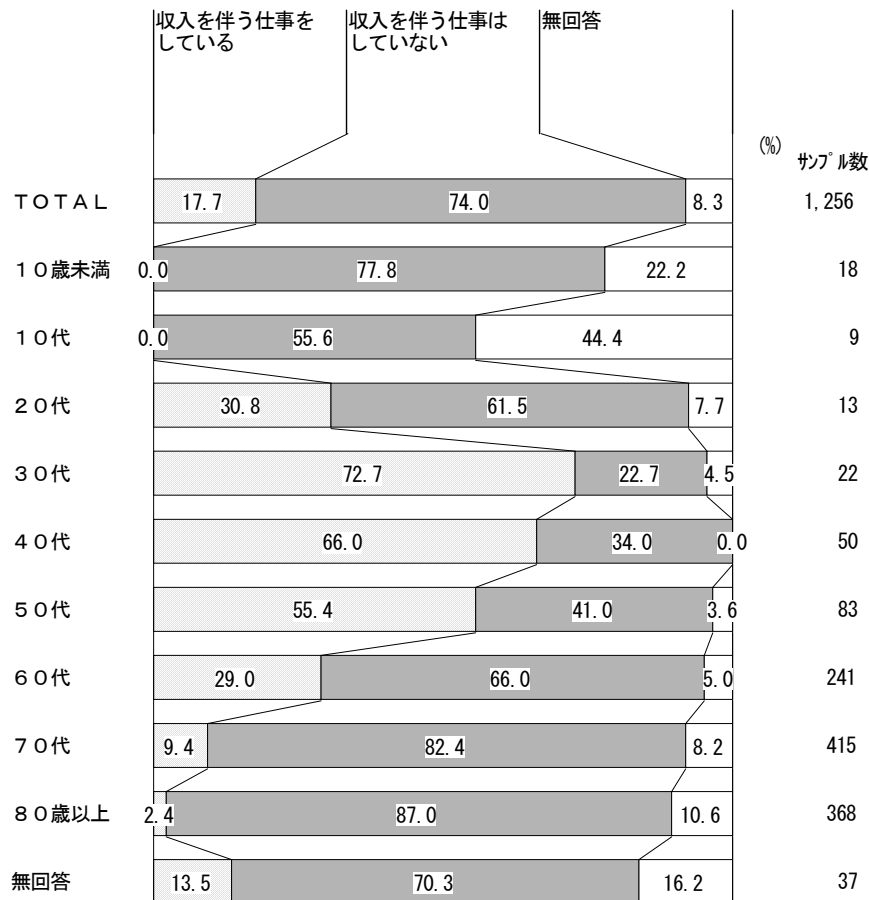
問3 年齢 (3区分)	n	4	1	5	2	6	3	7	8
		田無庁舎内ハローワーク出張所による求人閲覧サービス	西東京市障害者就労支援センター	ハト障害者求人閲覧サービス	東京障害者職業センターによる就労支援	就労移行支援事業所による就労支援	ジョブコーチ制度	上記の中に、知っているもの	無回答
0 TOTAL	1,256	15.0	9.5	8.4	7.3	2.4	1.7	38.3	37.2
1 18歳未満	27	14.8	18.5	7.4	7.4	3.7	0.0	33.3	29.6
2 18～64歳	273	32.6	17.6	24.5	16.1	4.8	5.9	34.1	15.4
3 65歳以上	919	9.9	7.0	3.7	4.9	1.7	0.4	40.2	43.0
4 無回答	37	10.8	5.4	8.1	2.7	0.0	2.7	27.0	59.5

【身体障害者】

(2) 就労状況

問 21 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

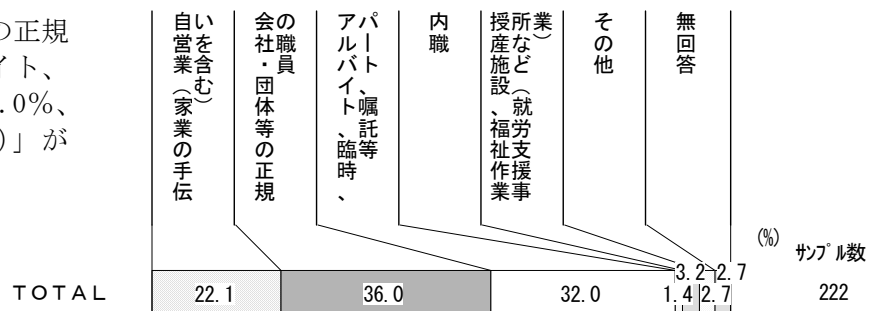
収入を伴う仕事をしている人の割合は、20代30.8%、30代72.7%、40代66.0%、50代55.4%、60代29.0%である。



(3) 就労形態

問 22 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

就労形態は、「会社・団体等の正規の職員」が36.0%、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」が32.0%、自営業(家業の手伝いを含む)が22.1%である。



(4) 給与・賃金額

問 23 あなたご自身の1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金はいくらですか。

全体でみると、1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金は、平均 185,299 円である。

就労形態別にみると、1ヶ月当たりの平均的な給与・賃金は、「自営業（家業手伝いを含む）」137,482 円。「会社・団体等の正規職員」325,237 円、「アルバイト、臨時、パート、嘱託等」105,609 円、「内職」46,666 円、「授産施設、福祉作業所など（就労支援事業）」22,542 円となっている。

	n	～10,000円	10,001～ 20,000円	20,001～ 30,000円	30,001～ 40,000円	40,001～ 50,000円	50,001～ 70,000円	70,001～ 90,000円
TOTAL	222	2.7%	3.2%	2.3%	1.8%	8.1%	5.9%	4.5%
自営業(家業の手伝いを含む)	49	4.1%	－	4.1%	－	10.2%	2.0%	6.1%
会社・団体等の正規の職員	80	－	－	0.0	－	－	－	－
アルバイト、臨時、パート、嘱託等	71	－	7.0%	2.8%	4.2%	14.1%	12.7%	9.9%
内職	3	－	－	－	33.3%	66.7%	－	－
授産施設、福祉作業所など(就労支援事業)	7	57.1%	14.3%	－	－	14.3%	14.3%	－
その他	6	－	16.7%	16.7%	－	－	16.7%	－
無回答	6	－	－	－	－	－	16.7%	－

	90,001～ 100,000円	100,001～ 150,000円	150,001～ 180,000円	180,001～ 200,000円	200,001～ 250,000円	250,001円 以上	無回答	平均
TOTAL	7.2%	7.7%	5.9%	8.1%	5.4%	15.8%	21.6%	185,299円
自営業(家業の手伝いを含む)	10.2%	8.2%	2.0%	2.0%	4.1%	6.1%	40.8%	137,482円
会社・団体等の正規の職員	－	10.0%	5.0%	16.3%	8.8%	33.8%	26.3%	325,237円
アルバイト、臨時、パート、嘱託等	14.1%	5.6%	11.3%	4.2%	4.2%	4.2%	5.6%	105,609円
内職	－	－	－	－	－	－	－	46,666円
授産施設、福祉作業所など(就労支援事業)	－	－	－	－	－	－	－	22,542円
その他	16.7%	－	－	－	－	33.3%	－	217,083円
無回答	－	16.7%	－	16.7%	－	－	50.0%	130,000円

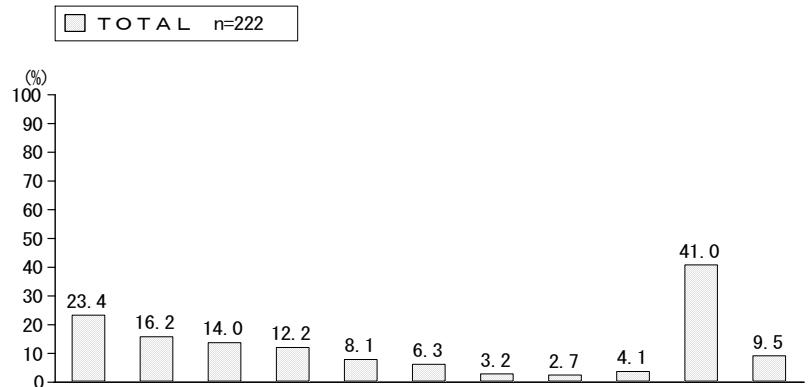
【身体障害者】

(5) 仕事をする上で困っていること

問 24 仕事をする上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

困っていることとしては、「給与・工賃などの収入が少ない」ことをあげる人が23.4%と最も多い。

就労形態別にみると、会社・団体等の正規の職員の場合は、「通勤が大変」をあげる人が27.5%と最も多く、次いで「給与・工賃などの収入が少ない」と「勤務時間、日数が多く体力的に不安」がそれぞれ22.5%で続いている。

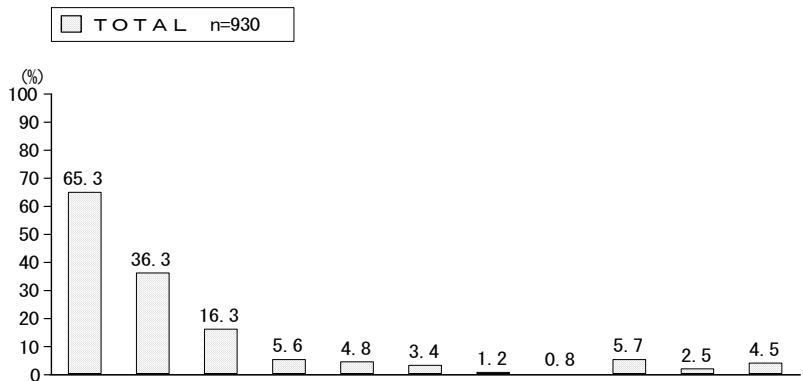


問22 就労形態	n	1 給与・工賃などの収入が少ない	3 通勤が大変	2 勤務時間、日数が多く体力的に不安	7 障害に対する職場の理解不足	5 職場の人間関係	6 職場の設備が障害に対応していない	8 職場外で相談相手がない	4 業務内容が合わない	9 その他	10 特に困っていることはない	11 無回答
0 TOTAL	222	23.4	16.2	14.0	12.2	8.1	6.3	3.2	2.7	4.1	41.0	9.5
1 自営業(家業の手伝いを含む)	49	18.4	4.1	8.2	2.0	0.0	4.1	0.0	0.0	6.1	44.9	20.4
2 会社・団体等の正規の職員	80	22.5	27.5	22.5	20.0	13.8	12.5	5.0	5.0	3.8	33.8	2.5
3 アルバイト、臨時、パート、嘱託等	71	26.8	14.1	12.7	11.3	7.0	1.4	2.8	2.8	4.2	45.1	5.6
4 内職	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
5 授産施設、福祉作業所など(就労支援事業)	7	57.1	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3
6 その他	6	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7
7 無回答	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3

(6) 働いていない理由

問 25 働いていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

18～64歳の人では、「障害や病気のために働くことができる状態ではないから」を理由としてあげる人が52.3%と最も多いが、19.5%は「希望に合った求人が見つからないから」、6.3%が「企業面接を受けているが採用されない」ことをあげており、就労の意思があるにもかかわらず、就労に結びついていない人も多くいることがうかがえる。



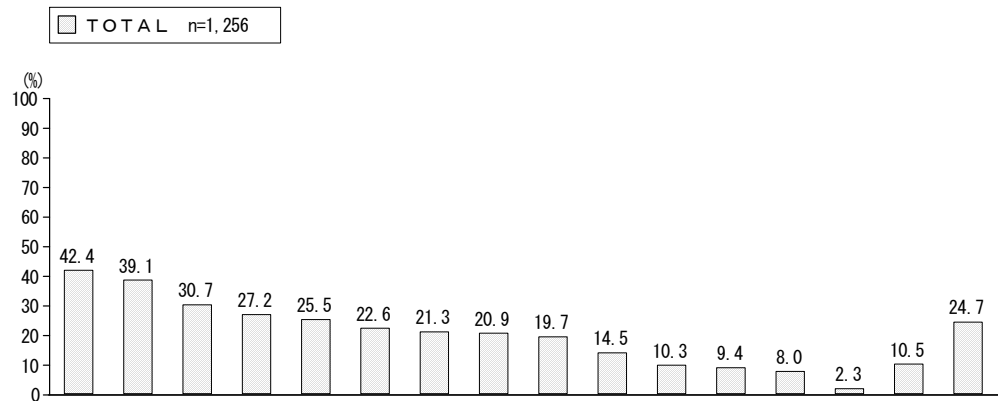
問3 年齢(3区分)	n	7 高齢だから	1 障害や病気のために働くことができない状態ではないから	8 働く必要がないから	2 働く自信がないから	3 希望に合った求人が見つからないから	6 医師や家族に止められているから	5 企業面接を受けているが採用されない	4 技術が未熟だから	9 その他	10 特に理由はない	11 無回答
0 TOTAL	930	65.3	36.3	16.3	5.6	4.8	3.4	1.2	0.8	5.7	2.5	4.5
1 18歳未満	19	0.0	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.5	0.0	10.5
2 18～64歳	128	15.6	52.3	14.8	10.9	19.5	3.9	6.3	3.9	10.2	4.7	5.5
3 65歳以上	757	75.6	34.7	16.8	4.9	2.5	3.4	0.4	0.3	2.8	2.2	3.7
4 無回答	26	57.7	26.9	15.4	3.8	3.8	3.8	0.0	0.0	7.7	0.0	19.2

(7) 障害のある人が働くために必要な環境・条件

問 26 障害のある方が働くためにはどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

障害のある人が働くために必要な環境等としては、「健康状態にあわせた働き方ができること」をあげる人が 42.4%と最も多く、次いで「自分の家の近くに働く場があること」が 39.1%で続いている。

収入を伴う仕事をしている人では、「就労をあっせんしたり、相談できる場が整っていること」をあげる人が 3 番目に多く (38.7%) あげられている。



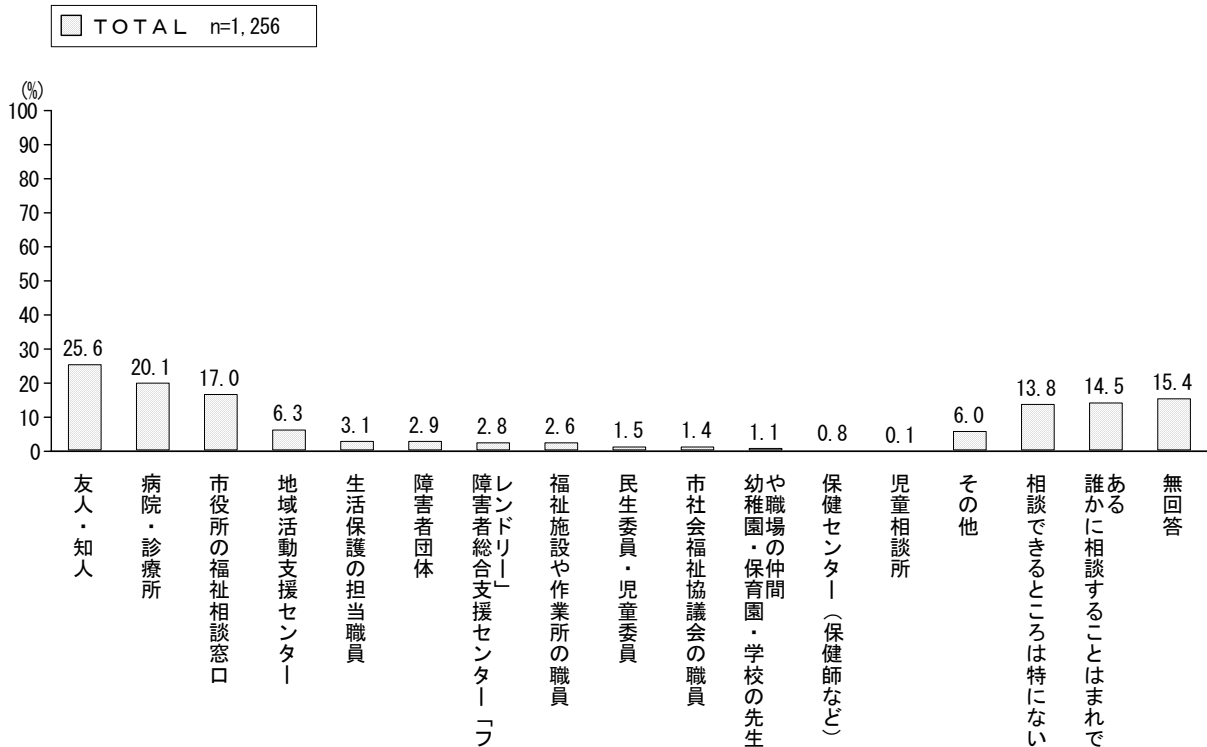
問 21 収入を伴う仕事の有無	n	3	1	4	9	5	10	2	7	6	12	8	11	13	14	15	16
		健康状態にあわせた働き方ができること	自分の家の近くに働く場があること	開発されること、障害のある人に適した仕事があること	十分理解していること、障害者雇用を推進すること	就労をあっせんしたり、相談できる場が整っていること	職場施設や設備が利用できること	自分の家の中で、通勤すること	民間企業がもっと積極的に雇用すること	施設が充実していること、技能・知識の習得を援助すること	障害のある仲間と一緒に、あそぶことができること	就業することを希望する人への支援を充実させること	介助者と一緒に働けること	ボランティア雇用など雇用を支援する仕組みがあること	その他	わからない	無回答
0 TOTAL	1,256	42.4	39.1	30.7	27.2	25.5	22.6	21.3	20.9	19.7	14.5	10.3	9.4	8.0	2.3	10.5	24.7
1 収入を伴う仕事をしている	222	55.0	48.2	35.6	36.0	38.7	28.4	23.0	32.4	24.8	12.2	16.2	6.8	11.7	2.7	5.0	9.5
2 収入を伴う仕事はしていない	930	42.3	39.4	31.6	26.8	23.4	22.6	22.3	19.4	19.7	15.8	9.2	10.2	7.5	2.2	12.7	23.8
3 無回答	104	17.3	17.3	12.5	12.5	15.4	10.6	8.7	9.6	8.7	7.7	6.7	7.7	4.8	2.9	2.9	65.4

8 相談や情報入手について

(1) 悩みごとや心配ごとの相談先

問 27 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(〇はいくつでも)

家族や親せき以外の相談先としては、「友人・知人」をあげる人が 25.6%と最も多く、次いで「病院・診療所」(20.1%)、「市役所の福祉相談窓口」(17.0%)と続いている。なお、「相談できるところは特にない」と回答した人が 13.8%みられる。



(2) 希望する相談先や相談体制

問 28 悩みごとや心配ごとを、家族や親せき以外では、どこに相談したいですか。また、相談するためには、どのような体制が整っているとよいと思いますか。

希望する相談先や相談体制について自由記入形式で回答を求めたところ、以下のような記入があった。

① 相談先

- ・ 病院の先生 (女性・49歳・上下肢)
- ・ 専門的な医療相談経験者と話してみたい。(女性・74歳・聴覚)
- ・ 介護施設 (女性・80歳・上下肢)
- ・ デイサービス (職員がよく学習していて、必ず解決する様責任をもって相談に当たってくれている。)(女性・73歳・上下肢)
- ・ ケアマネジャー (男性・70歳・上下肢)
- ・ 行政、医師 (女性・82歳)
- ・ 市役所の福祉相談窓口 (専門のカウンセラーがいるといい) (男性・52歳・聴覚)
- ・ 市役所や出張所に相談できる窓口があるといいと思います。(女性・84歳・内部)

- ・ 地域支援センターの方（男性・87歳・聴覚）
- ・ 友人と心を開きつきあえる人、自分と年齢に近い方がよい。（女性・65歳・上下肢）
- ・ 成長したら友人に相談したいと思います。（男性・1歳・聴覚）
- ・ 友人、知人のような、いつも連絡できる民生委員（男性・40歳・上下肢）

② 相談体制

- ・ まずは近隣の方々。体制的には、民生委員との交流がふだんから行われていることが大切ではないかと思う。（男性・89歳・内部）
- ・ 社会福祉士や心理カウンセラーなど、病気の子どもを持つ親に対してのサポートもほしい。精神や発達障害にはあるようだが、内部障害の場合、そういう支援を聞いたことがない。（女性・5歳・内部）
- ・ ケアマネジャー。個人情報流出にも配慮した体制が整っているとよい。（女性・60歳・上下肢）
- ・ インターネットを利用した相談業務があると良い。市役所まで足を運ぶのや、電話で開庁中に相談するのは物理的な時間的に難しいこともあるため。（女性・34歳・上下肢）
- ・ 介護ヘルパーやケアマネジャーを通じて、医療や法律等のより広い問題に答えられる者がほしい。（男性・85歳・内部）
- ・ 1. フレンドリー 2. 秘密保持（男性・79歳・内部）
- ・ 保谷障害者福祉センターが相談しやすい体制になっていれば良い。（女性・77歳・上下肢）
- ・ 地域の支援センターで。身近に相談できていける体制が欲しいです。（女性・13歳・体幹）
- ・ 公的な支援よりも、同じ障害を持つ人たちで相談しあいたい。（女性・57歳・上下肢）
- ・ 障害の悩みが通じる人は、職人（作る人）以外にはいない（主人が一番わかるけど）。障害者同士は相談できる。近くにそういう施設があると良いと思う。（女性・76歳・上下肢）
- ・ 難聴のため電話は一切だめだから、ウェブサイトなどで相談したい。（男性・69歳・聴覚）
- ・ インターネットのメールで対応してもらおう公的機関があるといいなと思う。（女性・49歳・上下肢）
- ・ 障害の内容別にネットで気軽にいろんな情報を知りたいです。相談はメールで適所（人）に送れるようなページがあればいいと思います。（女性・3歳・上下肢）
- ・ じっくりゆっくり親身に話を聞いてくれる事。（女性・35歳・上下肢）
- ・ 田無庁舎の障がい福祉課へ相談に行くと保谷に確認という事が多い。どちらでも同じサービスができるよう統一していただきたい。（男性・3歳・聴覚）
- ・ 事務所のような場ではなく、家庭的な雰囲気醸される所の方が、萎縮せず、心が開かれるように思います。（女性・73歳・内部）
- ・ 外出して相談することは身体上むずかしいので出来れば、自宅で。（女性・84歳・視覚）
- ・ 家にきて頂いて状態をみながらお話できること。（女性・81歳・上下肢）
- ・ 一般論的な回答ではなく専門（プロ）のような担当者であること。（女性・79歳・上下肢）
- ・ 専門的な知識／出張相談（男性・81歳・体幹）
- ・ 市役所の窓口等で、相談専門員の方が居らっしゃればもっと良い。（男性・57歳・上下肢）
- ・ 相談しやすい窓口。不安や心配ごとなどたくさんあるけど、他人からしたらたいした事がないと思われると思い、なかなか気軽に相談できる場がなく閉じ込もってしまう。（女性・33歳・上下肢）
- ・ 身近にあって、的確にアドバイスしていただける人材と知識力豊富な事。（女性・72歳・上下肢）
- ・ 悩みは聞いてもらえるのが一番なので、その道の専門家（身近に居ない人の方がいい）の紹介が大切。相談は解決を求めたいので公共の事業として取り扱って欲しい。（女性・79歳・内部）

【身体障害者】

- ・ 障害者であることを充分認識して、よく云い分を聞き、適切にアドバイス、指導してくれる近い場所でサポートしてくれる温かなアドバイザーが居るところがあればと願います。(男性・82歳・内部)
- ・ その障害の専門家に相談したい。今専門家はろう学校や病院に点在しているので、集結された窓口が欲しい。(女性・1歳・聴覚)
- ・ 個々の障害を良く理解しているカウンセラーのいる所。心理学や医学の専門家にカウンセリング能力の資格を与えたり、傾聴ボランティアを育成し、多くの所に配備する。(女性・55歳・上下肢)
- ・ 障害・福祉に関する相談は、まずここへというような窓口があればいいのでは。あるのかもしれませんが知りません。そういう情報は、広く何度でも知らせるべきだと思います。(女性・10歳・体幹)
- ・ 総合的な相談のできる窓口があったらと思います。(女性・87歳・内部)
- ・ プライバシーとの兼ね合いあり。信頼性ある機関があれば。(女性・75歳・上下肢)

③ その他

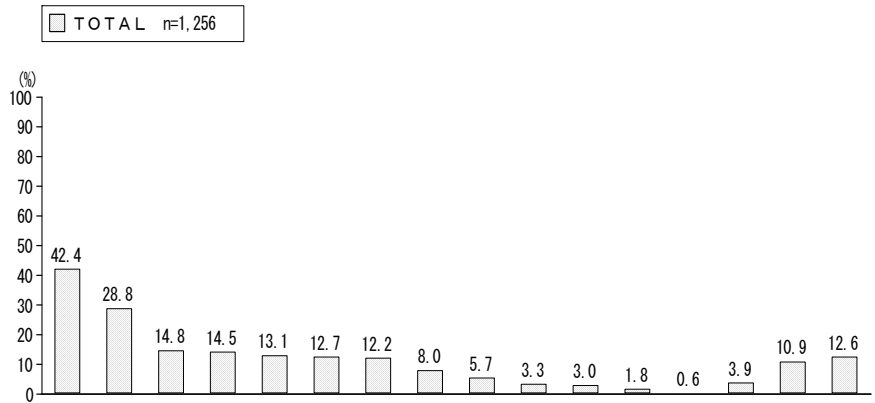
- ・ 福祉制度の矛盾点、問題点に気づくことが多いので現場で起こっている不合理を改善するため、様々なアイデア、意見をすくい上げ統合していく制度必要。(女性・61歳・上下肢)
- ・ 相談するとは、体制が整っていて実行が速かに伴っていないとできない事です。持ち廻りの相談事はしないと思う。結果的には家族が悩む、悲しいことです。(男性・75歳・内部)
- ・ 相談窓口があることの周知 (男性・48歳・視覚)
- ・ ボランティア活動にたずさわったことがあり、その時に上から目線で、接しているプロの方達がことの外、多かった。障害者の為ではなく、自分の生活の為に仕事をしているように感じた。自分が障害を持つ身になって、その時のことを思い出すと心から相談したいと思わない。(女性・体幹)
- ・ 障害者福祉センターの先生方に相談して、その人に合った回答がいつも返って来て安心していたのですが、年齢が来ると通えなくなり、家に居る事が多くなりました。希望者にはセンターに通える様にしてほしかった。(通所中は心のケア・身体のケア状態がとても良かった。)(女性・69歳・上下肢)
- ・ 障害者を特別扱いにしない環境。(男性・44歳・聴覚)
- ・ 障害者の相談のきもちをりかいしてほしいことかな！(男性・57歳・上下肢)
- ・ 家族や親せき以外に相談する気持ちを持つ程、重大な問題に直面した事情になった事がないので解からない。(女性・85歳・上下肢)
- ・ 身内が非常に少なく、私自身、身障者1級で、いろいろな問題をかかえどこに相談していいか、分からず困っている。(男性・85歳・内部)
- ・ 特に相談はない。自分自身の生き方の問題自己解決(現在)(男性・65歳・上下肢)
- ・ 何事も自分で判断し解決していくしかないと思います。(女性・80歳・内部)
- ・ 今のところ家族以外には相談したくない。(女性・69歳・内部)
- ・ 市や保健所・公的機関で相談したいが、相談しても解決できないのであきらめた。(女性・49歳・内部)
- ・ 誰にも相談しません。あまり聞かれないから。(男性・81歳)
- ・ 役所的ふんいきは入りづらい。相談に行っても仕方がない。(男性・83歳・平衡)

(3) 障害福祉サービス等の情報の入手先

問 29 障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

障害福祉サービスなどの情報の入手先としては、「市の広報紙（広報テープを含む）」をあげる人が42.4%と最も多く、次いで「障害者のしおり（市で作成した冊子）」が28.8%で続いている。

年齢別にみると、「障害者のしおり」をあげる人の割合は、64歳未満では約4割と高い。また、「市のホームページ」も64歳未満では約14%と、65歳以上（6.2%）に比べて高くなっている。



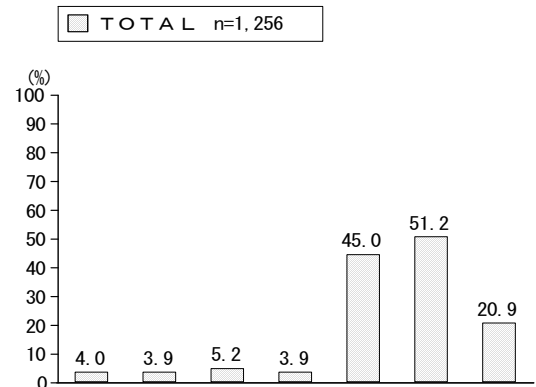
問3 年齢 (3区分)	n	2	1	9	6	12	13	3	4	7	5	8	11	10	14	15	16
		市の広報紙（広報テープを含む）	障害者のしおり（市で作成した冊子）	病院、診療所	テレビ、ラジオ、新聞	家族、親せき	友人、知人	都の広報紙（広報テープを含む）	市のホームページ	障害者団体	都のホームページ	学校、職場、施設	民生委員・児童委員	図書館の障害者向けサービス	その他	わからない	無回答
0 TOTAL	1,256	42.4	28.8	14.8	14.5	13.1	12.7	12.2	8.0	5.7	3.3	3.0	1.8	0.6	3.9	10.9	12.6
1 18歳未満	27	44.4	40.7	29.6	3.7	14.8	29.6	0.0	14.8	11.1	3.7	25.9	0.0	0.0	3.7	0.0	7.4
2 18～64歳	273	43.2	39.2	14.3	10.6	8.1	9.2	12.8	13.6	9.2	6.6	5.1	0.4	1.1	3.3	12.5	5.9
3 65歳以上	919	42.4	25.6	14.7	16.2	14.9	12.8	12.4	6.2	4.7	2.5	1.8	2.2	0.4	4.1	10.1	14.5
4 無回答	37	32.4	24.3	10.8	8.1	5.4	21.6	10.8	5.4	2.7	0.0	0.0	5.4	0.0	2.7	27.0	18.9

(4) フレンドリー内施設の認知状況

問 30 西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」にある次の施設を知っていますか。知っているものすべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

フレンドリー内施設の認知度は、「相談支援センター・えぼっく」4.0%、「就労支援センター・一歩」3.9%、「地域活動支援センター・ハーモニー」5.2%、「生活介護事業所・くろーばー」3.9%となっている。

年齢別にみると、18歳未満では「生活介護事業所・くろーばー」の認知度が33.3%、18～64歳では「就労支援センター・一歩」の認知度が11.4%である。



問3 年齢 (3区分)	n	1	2	3	4	5	6	7
		相談支援センター・えぼっく	就労支援センター・一歩	地域活動支援センター・ハーモニー	生活介護事業所・くろーばー	1, 4の施設は知らずとも知ら	障害者総合支援センター「フレンドリー」を知らない	無回答
0 TOTAL	1,256	4.0	3.9	5.2	3.9	45.0	51.2	20.9
1 18歳未満	27	0.0	7.4	7.4	33.3	29.6	44.4	7.4
2 18～64歳	273	8.1	11.4	6.6	7.0	40.7	53.8	11.7
3 65歳以上	919	3.0	1.7	4.9	2.3	46.8	51.3	23.4
4 無回答	37	0.0	0.0	0.0	0.0	43.2	35.1	37.8

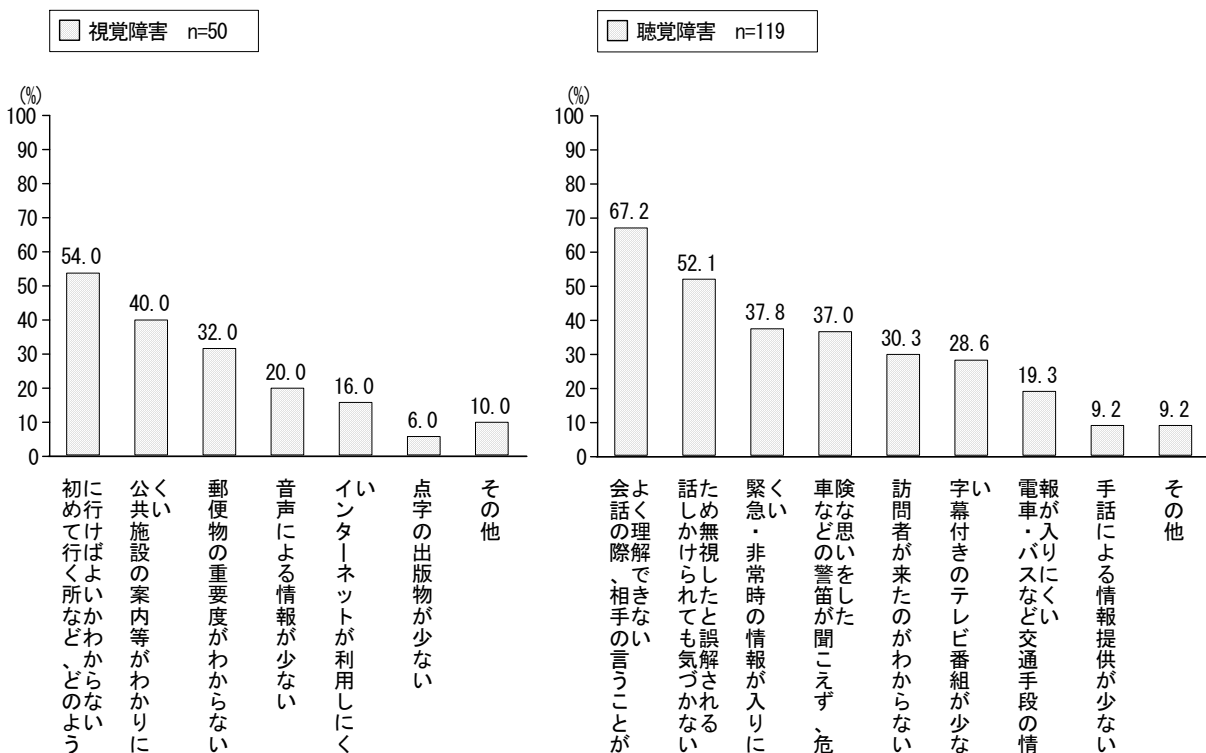
【身体障害者】

(5) コミュニケーションや情報取得する上で困ること

問 31 コミュニケーションや情報取得をするうえで困ることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

視覚障害のある人に対して、コミュニケーションや情報取得をするうえで困ることをたずねたところ、54.0%の人が「初めて行く所など、どのように行けばよいかわからない」、40.0%が「公共施設の案内等がわかりにくい」ことをあげている。

同様に、聴覚障害のある人では、67.2%の人が「会話の際、相手の言うことがよく理解できない」、52.1%が「話しかけられても気づかないため、無視したと誤解される」ことをあげている。



9 福祉サービスについて

(1) 福祉サービスの認知状況・利用経験

問 32 あなたは、次のような障害者サービスがあることを知っていますか。また、利用したことがありますか。(①～⑨のサービスごとに1つずつお答えください。)

問 33 「利用している・利用したことがある」サービスについて、利用した際の感想などをお聞かせください。(上記の①～⑨の番号と、利用の感想等をお書きください。)

以下の9つのサービスのうち、利用経験率（利用している・利用したことがある）が最も高いサービスは、「補装具の支給・修理」(23.3%)、次いで「日常生活用具の給付」(14.8%)、「ホームヘルプサービス」(14.0%)。

	利用している・ 利用したことがある	サービスがあることは知 っているが利用したことは ない	知らない・わ からない	無回答	(%) サンプル数
ホームヘルプサービス	14.0	37.1	22.5	26.4	1,256
短期入所（ショートステイ）	8.8	38.6	22.1	30.5	1,256
補装具の支給・修理	23.3	24.4	24.0	28.3	1,256
日常生活用具の給付	14.8	24.4	30.6	30.2	1,256
移動支援（ヘルパーの派遣）	10.7	34.6	23.7	31.1	1,256
生活サポート	4.2	27.3	33.9	34.6	1,256
日中一時支援	3.9	25.5	35.7	34.9	1,256
地域活動支援センター	7.0	25.0	34.1	33.9	1,256
手話通訳者・要約筆記者の派遣	1.0	18.4	42.6	38.0	1,256

9つのサービスのうち、いずれかを利用したことがある人の割合を、障害の程度別にみると、重度（1級・2級）の利用経験率は43.6%、中度（3級・4級）は40.6%、軽度（5級・6級）は21.6%となっている。

	利用経験あり	利用経験なし（無回答）	(%) サンプル数
重度（1級・2級）	43.6	56.4	628
中度（3級・4級）	40.6	59.4	480
軽度（5級・6級）	21.6	78.4	111

【身体障害者】

サービスを利用した際の感想を自由回答形式で求めたところ、以下のような記入があった。

① ホームヘルプサービス

- ・ できることしかしてくれない。(男性・66歳・上下肢)
- ・ 制限が有り、必要と(本人)している事が利用できないことが有るのはどうかと思います。制限をゆるめて欲しい。他のサービス利用は費用がかさむので利用できない。(女性・69歳・上下肢)
- ・ 費用の違い、しくみがよくわからない。(男性・77歳・上下肢)
- ・ 介護保険提供の家事支援・身体介護と理解しています。ヘルパーにも色々な方がいて満足していませんが、助かっています。(女性・72歳・体幹)
- ・ ヘルパーさんによって、よく仕事をしてくれる人と気の回らない人との差がある。(女性・96歳・その他)
- ・ 家の掃除、食事の下ごしらえ、室内がきれいでいられるので有り難い。ヘルプしてもらう時間が短い。(男性・84歳・上下肢)
- ・ 家のそうじ。ていねいにきもちよく仕事をしていただいています。(女性・82歳・上下肢)
- ・ 車椅子、ベッドからの移動や着替え等、助かっています。(男性・70歳・上下肢)
- ・ 週に2日1時間ずつだったので、娘が(遠方在住)食材を買って冷凍し、それで食事を作ってくれていましたが、いつも同じメニューでした。(男性・96歳・内部)
- ・ 右大腿骨転子部骨折したときにお風呂に入れていただき、3ヶ月ほどお願いいたしました。とても助かりました。(女性・74歳・内部)
- ・ 受けるにはお金がかかり過ぎる。(男性・48歳・上下肢)
- ・ 自立(気持ち)できる方向性を持って、介助や悩みにも対処してくれる。(女性・88歳・その他)
- ・ 担当者が比較的変わらず来て下さることが有り難いです。(女性・85歳・上下肢)
- ・ 無断で物置や押入れの中を調べたり、頂き物にやたら興味を持つ。(女性・73歳・内部)
- ・ 人選の権利が必要(男性・67歳・音声)
- ・ 介護で受けているが、透析があり、時間的計画がむずかしい。(男性・85歳・内部)
- ・ 年齢に関係なく、障害の程度や家庭状況で支給していただきたい。(男性・4歳・上下肢)
- ・ 非常に満足している。(女性・85歳・上下肢)

② 短期入所(ショートステイ)

- ・ 予約してもなかなかできないので、近くでショートステイできると良い。(女性・88歳・その他)
- ・ 呼吸器がついていると、利用できる施設が少ない。(男性・4歳・上下肢)
- ・ 長期入所者の外泊などで空きの時しか利用できないため一週間前にならないと、利用可能かわからないので、予定を前もって立てられないのが不便。(女性・85歳・上下肢)
- ・ 予約が難しい。(男性・89歳・内部)
- ・ 短期入所は人数などの関係で、なかなか受け入れてもらえない。(女性・14歳・体幹)
- ・ 家族のリフレッシュなどもできてよかった。(男性・81歳・内部)
- ・ 家族(介護している者)が休息できるので良いと思う。(男性・71歳・体幹)
- ・ ショートステイは1ヶ月上限7日だが、年間での日数にして欲しい。7日以上になる時は、介助者の病気や都合が理由なので、7日では足りない事が多い。(女性・71歳・内部)
- ・ 希望日に空いていなく、利用するのに不便。(女性・99歳・上下肢)
- ・ 気に入るところが見つかる迄、3ヶ所利用した。(女性・85歳・体幹)

- ・ 言葉や要求を真剣に受け止める職員をそろえていただきたい。(男性・67歳・音声)
- ・ 個室希望 (男性・79歳・上下肢)
- ・ 1回利用しましたが、身体を動かすことがなく飽きてしまった。(男性・81歳・体幹)
- ・ やることもなく嫌だった。もう行きたくない。(男性・84歳・聴覚)
- ・ 快適であった。(女性・76歳・上下肢)
- ・ 希望の日が利用出来なかった。個室だったので、着替え等してもらえなかった。金額が高額だった。(男性・72歳・体幹)
- ・ 練習で1度利用した。大人の中に子ども一人だったので、かわいがられてよかったと思います。(女性・6歳・体幹)
- ・ 食事がおいしかったです。トイレが車椅子で入れなかった。(男性・47歳・上下肢)
- ・ 3ヶ所に通っているが、一長一短があり、ここが特にいいという事がない。(女性・94歳・上下肢)

③ 補装具の支給・修理、日常生活用具の給付

- ・ 手すりを取付けてもらい、安心して歩ける。(女性・76歳・上下肢)
- ・ 常に使用しているので、修理等早くできて助かります。(男性・47歳・上下肢)
- ・ レンタルで利用しているが点検、器具の交換など助かっている。(女性・97歳・内部)
- ・ 義足を使用したおかげで、日常生活は困らない。(女性・63歳・上下肢)
- ・ 要求・仕様に合わせて、よく合った商品を選定してくれる。(男性・57歳・体幹)
- ・ 補装具更新の折、気持ちよく対応して感謝している。(女性・32歳・聴覚)
- ・ 歩行補助器、便利である。(男性・87歳・内部)
- ・ 廊下・トイレ・風呂などに手すりをつけた。家の中でも車椅子での移動の為、部屋と廊下の段差を無くしてもらいました。工事方法と金額について、きちんと説明があった。(女性・88歳・上下肢)
- ・ 丁寧に説明していただき、現在も便利に利用している。(女性・68歳・視覚)
- ・ 補聴器の修理や購入の時、役所から補助金が出るので助かります。(男性・69歳・内部)
- ・ 直腸がんにより摘出手術を受け、ストマの使用及び色々の使用注意点、及び質疑等のサービスを受け、とても助かりました。(男性・83歳・内部)
- ・ ヒザをけがした時、装具の一部支給してもらった。(男性・85歳・内部)
- ・ 拡大鏡を買っていただきました。今は仕事になくってはならないものですが、購入の際、窓口の女性が「購入して後悔する方がよくおられるので、考えて下さい。」とちょっとしづられたのが、後味悪く残っています。(女性・60歳・視覚)
- ・ 支給、修理の補助はとてもうれしいが、私は3級でも最も悪い方なので、作るのに困難を要し、時間も交通費、食事代に相当な金額を要するので悲しい。(女性・76歳・上下肢)
- ・ ストマ(直腸用)の支給で助かっています。(女性・78歳・内部)
- ・ 成長にあわせて、作りかえていただいたり、そのものの値段で買うと高かったりするのですが、所得にあわせて負担額がそんなにいかず作成できるのが安心です。(女性・6歳・体幹)
- ・ 高額器具なので助かる。(女性・49歳・内部)
- ・ 装具靴を市の支給により作って頂いた。1足なので、もう1足欲しい。(女性・73歳・上下肢)
- ・ 補聴器の進化が早く、すぐに良い物が出るので、5年待たずに最新のデジタル補聴器に変えられるようにして欲しい。(男性・52歳・聴覚)
- ・ 補装具を一日中使用しているので、1年間使うとボロボロになってしまいます。体型が変わったり、身長も伸びているので、毎年作りなおしてはいますが、18才からは大変になると聞いたので、個人個

【身体障害者】

人に合ったサービスをお願いします。(女性・16歳・体幹)

- ・ 質の差があるので、メーカーを自由に選びたい。作った後のフィッティングが不十分だった。(女性・57歳・上下肢)
- ・ 足の指が曲がっているため依頼したが、痛くて履けなかった。(女性・76歳・上下肢)
- ・ 高度難聴のため、支給される補聴器では役に立たなかった。補助金の請求も面倒臭いので、利用しなくなった。(男性・69歳・聴覚)
- ・ 補装具を病院から紹介で購入し装着したが、かぶれやすい。(男性・71歳・体幹)
- ・ 支給品は精度が低いので、あまり役立ちません。自分で購入したものと合わせて両耳で使っています。片耳ではほとんど役立ちません。(女性・78歳・聴覚)
- ・ 私の負担は小額でとても感謝しています。ただ市役所は業者への支払いが定価になっている。業者は割引販売はしていないのですか。市役所と障害者の負担軽減のため、業者は割引販売してくれることを望みます。(男性・70歳・内部)
- ・ 手をかけた割に使い勝手が悪く、結局お蔵入りすることが多い。市販品に手を加えたりして、作業療法士に作ってもらった方が良い。(女性・61歳・上下肢)
- ・ 義手の負担金がかかり過ぎる。(女性・79歳・上下肢)
- ・ 補装具購入代金は一割負担になっている。以前は市が全額負担。不要・不急の予算(ハード関係)を削って、障害者サービスを充実すべきです。全額市の負担とすべきです。(男性・78歳・内部)
- ・ 市内の(身近な)病院のどこでも利用できる方が良い。壊れてもすぐ直してもらえなくて困ることがあります。大きな病院ですと、外来予約が必要だったり、業者の予定ですぐに対応してくれません。(女性・55歳・上下肢)
- ・ 市役所の担当の方があまり良く分かっていなかったのか、感じが悪く申請に行くのすら嫌になった。なので、最近は修理など申請していない。(がまんして使っている。)(女性・14歳・体幹)
- ・ 何をするのも判定を受けなければならない、もっと簡素化できれば嬉しい。(男性・34歳・上下肢)
- ・ 手続きが面倒くさかった。国立まで行くのも大変であった。(男性・66歳・上下肢)
- ・ 手続きが大変だった。(女性・77歳・視覚)
- ・ 経済的には大変助かりますが、手続きが大変で障害者本人が手続きするのは無理のように思います。(女性・72歳・上下肢)
- ・ 以前は支給券が届くのに時間がかかると聞いた事がありましたが、最近はとても早く対応して頂けて助かっています。(女性・10歳・体幹)
- ・ 業者、市役所と何回か行ったりしなくてはいけないので、結構面倒くさい。(女性・5歳・上下肢)
- ・ ドクターの意見書の書き直しをお願いされたことがあります。何か決まりがあるのなら教えていただきたい。忙しい中であっちに行ったり、こっちに行ったり大変なので。(女性・8歳・上下肢)
- ・ 非常に分かりづらかったです。ネットで申請させてほしいです。(男性・38歳・体幹)
- ・ 子どもの補装具はすぐに買い替えが必要になります。その時、購入の期間に達していないということで、なかなか進めていただけないのが大変です。(女性・6歳・聴覚)
- ・ 1度に申請書をもたえず、先生の診断書ももらいに、何度も遠方の病院に行くことになりました。(男性・3歳・聴覚)
- ・ トイレの手すり付→ポータブル使用しています。(男性・70歳・上下肢)
- ・ 障害となってから市より危険な場所に手すり、つかまるところなどを取付けてもらい、安心して生活できるようになり感謝している。(男性・84歳・上下肢)
- ・ ベッドのリース。行動に制限があるので、立ち振るまいが楽である。(女性・77歳・上下肢)
- ・ オムツ。市役所からの給付は大変助かっている。(女性・上下肢)

- ・ ベッドのレンタル。自分に合った物が選べるのが良いと思う。(女性・93歳・内部)
- ・ CDリーダーは便利。体重計は家族がいる場合、補助されないのは淋しい。(女性・64歳・視覚)
- ・ 酸素療法を始めたときに電磁調理器を給付してもらいました。出費の多かったときなので、助かりました。(女性・83歳・内部)
- ・ 車椅子は当日貸し出してくれると良いと思います。(女性・55歳・上下肢)
- ・ パソコン等技術の進歩に合わせて、対象を検討して欲しい。(男性・48歳・視覚)
- ・ 直腸障害でストマの給付を受けていますが、値上げされていても給付金は現状のままなので、給付金の上限の検討をしてもらいたい。(女性・47歳・上下肢)
- ・ 歩行時痛みが強く、杖なしでは歩けないのですが、介護保険利用での購入対象外なのはどうしてでしょうか。(女性・69歳・上下肢)
- ・ 成長や症状の変化で、用具も変更が必要なことあるのですが、生活する上で必需品なので給付されると助かります。(女性・6歳・体幹)
- ・ 変化に応じて対応できると良い。(男性・81歳・内部)
- ・ 満足している。支払いが半年に1回なので、高額になる。(男性・72歳・体幹)
- ・ 多くの種類があり十分。(女性・57歳・上下肢)
- ・ 補助給付額はストマ直材費だけなので、その他処理費用(例：消臭剤、腫れ防止薬、切断器具、ガーゼ、湿布類等)がかさみ、生活費が圧迫されています。非保品用具費+10%位を補助して頂ければ幸いです。(男性・82歳・内部)
- ・ 一度申し込んだら、他の業者が変わるのが大変。病院側は色々業者を変えた方が良いと言うが、やりにくい。(女性・52歳・内部)
- ・ 給付券を6ヶ月単位で頂いている。双方向伝達が不十分だ。(男性・63歳・内部)
- ・ 手続きが遅い。(女性・上下肢)
- ・ 手つづきの書類がふくざつでめんどろすぎる。(男性・70歳・聴覚)
- ・ 自己負担額(一割)がゼロになる事をお願いします。(男性・63歳・内部)

④ 移動支援(ヘルパーの派遣)

- ・ ヘルパーさんが整形外科に連れて行って下さり、助かりました。(男性・81歳・体幹)
- ・ 病院の往復を車イスで押してもらった。いろんな話をして歩いた。それが楽しかった。(女性・63歳・上下肢)
- ・ お買物する時、荷物をもってもらえる。(女性・83歳・上下肢)
- ・ 日常生活には欠かせない。(女性・76歳・上下肢)
- ・ 話をしたりできるので楽しい。(男性・61歳・視覚)
- ・ とても親切でヘルパーさんも感じ良い。(女性・78歳・内部)
- ・ 学校の無い日、土日は主人がいないので利用していてとてもありがたいです。(男性・9歳・体幹)
- ・ ケアマネジャーから説明を受け、利用している。家族の負担が軽くなる。(女性・89歳・内部)
- ・ 必要なときに対応していただいただけ良かった。(男性・81歳・内部)
- ・ 手際よくやってくれた。(男性・66歳・上下肢)
- ・ 施設入所者にも必要な場合、サービス支給できるようにしてほしい。(男性・67歳・音声)
- ・ もっと時間を増やして欲しい。(男性・48歳・上下肢)
- ・ 年齢に関係なく、障害の程度や家庭状況で支給していただきたい。(男性・4歳・上下肢)

【身体障害者】

- ・ 現状支援については満足認定手続きはもっと簡素化すべき。特に延長手続き。(支援状況が高齢、病気による場合、簡単に元の状況には戻らない。)(男性・81歳・内部)

⑤ 生活サポート

- ・ オムツ・床屋を利用しています。1割負担以上になりませんように。(男性・70歳・上下肢)
- ・ 料理を練習している。(女性・57歳・上下肢)
- ・ 自分が自立(気持ち)できる方向性を持って、介助や悩みにも対処してくれる。(女性・88歳・その他)
- ・ 給食週3。助かります。(男性・87歳・上下肢)
- ・ サポートの種類が限られている。(男性・65歳・上下肢)

⑥ 日中一時支援

- ・ 要介護者なこともあり、家族だけでは限界がありますので、デイサービス等大変助かっております。(男性・94歳・聴覚)
- ・ 気分転換ができて良い。(女性・97歳・内部)
- ・ デイサービスで新しい仲間ができて楽しいです。(女性・76歳・上下肢)

⑦ 地域活動支援センター

- ・ 情報が少ない。(男性・48歳・上下肢)
- ・ リハビリと活動。もう少し行ける日が増えるといい。(女性・57歳・上下肢)
- ・ 時々心配事や障害者についての相談に行っている。(女性・上下肢)
- ・ 介護の相談にのってもらっている。(女性・97歳・内部)
- ・ 障害者手続きをやってくれた。(男性・51歳・上下肢)
- ・ 楽しい。(女性・86歳・上下肢)
- ・ 入院中から退院後も何度も訪ねていただきました。(女性・78歳・上下肢)
- ・ ハーモニーで入浴した。職員の対応が良かった。(男性・66歳・体幹)
- ・ 担当者が親切でよくやってもらっているが、人数が少なく、気軽に手続の依頼がしづらい。(男性・74歳・上下肢)
- ・ とても親切で、一人一人にやさしくしてくださり、とても喜んでいきます。1週間に1回(火曜日)しか行っていないので、2回ぐらい行けたらいいなと思います。(女性・84歳)

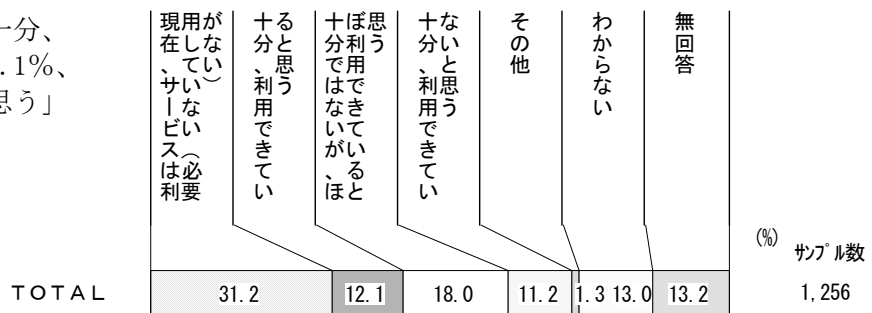
⑧ 手話通訳者・要約筆記者の派遣

- ・ 手話読み取り、表現が下手。もっと理解すべき。一歩下がって協力すべき。手話講習会はやる意味がない、ちっとも通訳が育たない。(女性・50歳・聴覚)
- ・ 派遣の費用が依然として高い(自己負担の場合)と感じる。(男性・25歳・聴覚)
- ・ もっと手話通訳者がほしい。(女性・65歳・聴覚)
- ・ 病院で医者との大事な話が難しいので、手話通訳にお話を聞きながら手話をやって頂けたので、本当に助かりました。(女性・72歳・聴覚)
- ・ 応対に問題あり。改善が必要。本人の意向を考えない。勝手に決め付ける。(女性・62歳・聴覚)

(2) 必要なサービスの満足度

問 34 あなたは、現在、必要だと思うサービスを、十分利用できていると思いますか。(○は1つ)

必要だと思うサービスを「十分、利用できていると思う」人は12.1%、「十分、利用できていないと思う」人は11.2%である。

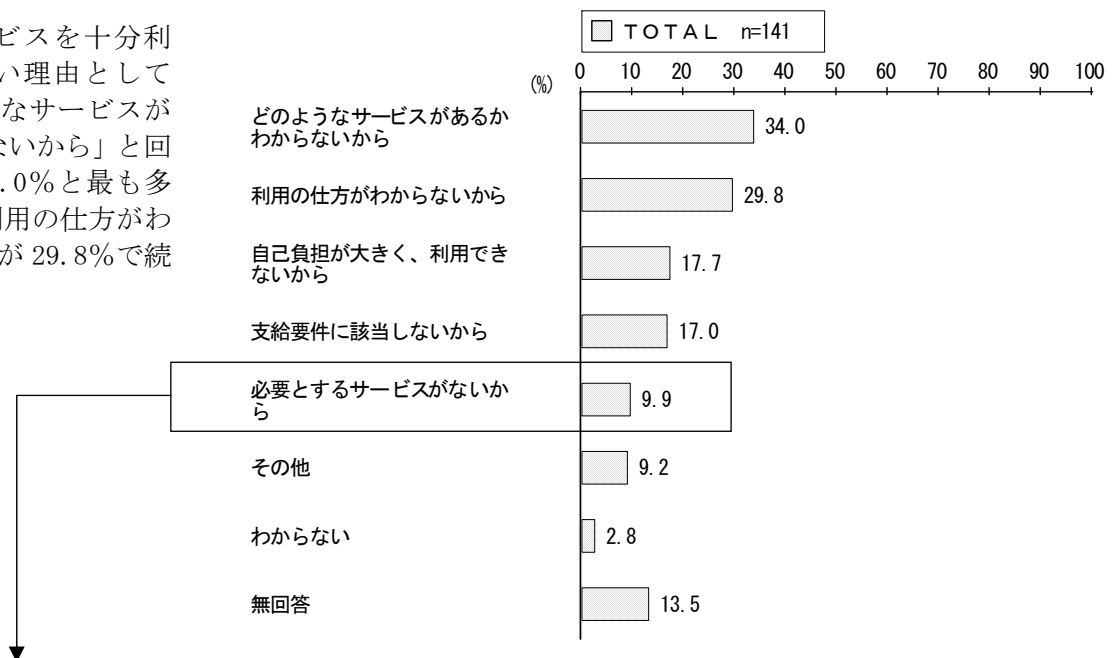


(3) 必要なサービスを十分利用できていない理由

問 35 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

問 36 必要とするサービスとはどのようなものですか。

必要なサービスを十分利用できていない理由としては、「どのようなサービスがあるかわからないから」と回答した人が34.0%と最も多く、次いで「利用の仕方がわからないから」が29.8%で続いている。



「必要とするサービスがないから」と回答した人に対して、「必要とするサービス」の具体的な内容について自由記入形式で回答を求めたところ、以下のような記入があった。

- ・ 窓ふき。ほかのことは時間をかければできるが、窓ふきは足をふんばることができないから (女性・76歳・上下肢)
- ・ 補聴器使用に対するサービスはあるが、人工内耳に対してのサービス (電池代や体外装置の購入などの助成) がないので、(他の自治体では、あるところもある) 検討してほしい。(女性・49歳・聴覚)
- ・ 都営の交通機関の他にも、この近郊で、同じようなサービスが欲しい。この地域では都営交通はあまり使用しないので。(女性・61歳・上下肢)
- ・ 市役所のリハビリサービスの年齢をもっと広げる (男性・66歳・上下肢)
- ・ 入所していると、必要なリハビリが受けられない。(女性・85歳・体幹機能)
- ・ 病院では、せっかくしたリハをどんどんはぶかれる。残念でならない。(男性・71歳・体幹)

【身体障害者】

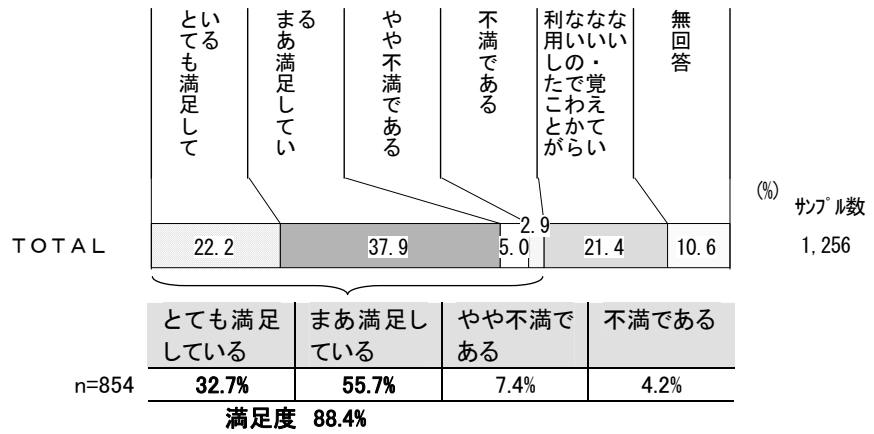
(4) 障害福祉課窓口の満足度

問 37 障害福祉課の窓口利用(保谷庁舎・田無庁舎)についてお聞きします。職員の対応や相談環境などについて満足していますか。(○は1つ)

問 38 問 37 のようにお答えになったのは、どのような理由からですか。

障害福祉課の窓口利用の満足度は、「とても満足している」が 22.2%、「まあ満足している」が 37.9%である。

「利用したことないのでわからない・覚えていない」及び「無回答」を除いて、満足している人の割合を計算すると、窓口利用者のうち 88.4%が満足していることがわかる。



満足あるいは不満と回答した理由について、自由記入形式で回答を求めたところ、以下のような記入があった。

① とても満足している・まあ満足している

- ・ いつもこちらの要望にきちんとした対応してくれています。(女性・63歳・上下肢)
- ・ ていねいな対応をしていただき感謝しています。特に電話では、ゆっくり話して下さり、とても聞こえ易く助かります。(女性・69歳・聴覚)
- ・ とても丁寧に説明して下さい、手続きがスムーズにできた。(男性・55歳・上下肢)
- ・ 市役所に行った時、窓口で対応してくれた職員の方が丁寧に説明され、わかりやすかった (男性・73歳・内部)
- ・ 障害者の気持ちを良く理解して対応がやさしい。(男性・87歳・上下肢)
- ・ とてもゆっくりで一つごとに相談と言って待つ事に、ベテランらしい方と交替して下さい、わかりやすく、スムーズ感謝。(仕事を的確に覚えるのは大変でしょうか) (女性・73歳・上下肢)
- ・ 初めて手続をする前の情報では時間がかかると聞いていましたが、実際は、早い処理に感謝している。(男性・84歳・聴覚)
- ・ 初めてのことが多くとまどったが、とても親切に対応してくれました。(女性・53歳・内部)
- ・ 管轄以外の質問にも、必要範囲でこたえてくれる。(男性・55歳・音声)
- ・ 障害者旅行について相談したら、いろいろなところにあたってくれ、親切に対応してくれた。(男性・85歳・内部)
- ・ 親切に教えてくれ、現実にそったサービスを得られている。(男性・80歳・上下肢)
- ・ 相談しに行った時私の知らないことも教えてくれました。(男性・80歳・内部)
- ・ 納得するまで話を聞いてくれる (男性・84歳・上下肢)
- ・ 簡単な説明をしていて、難しい言葉をつかわないからわかりやすい。(女性・40歳・聴覚)
- ・ 電話の対応が良く、詳しく情報を伝えてくれる。(男性・64歳・内部)
- ・ 保谷庁舎では何か問い合せると詳しく説明してくれる。仕事が早くスムーズであり、非常に助かっています。(男性・64歳・上下肢)

- ・ 申請書類に間違いがあると、間違い部分をよく説明、訂正してくれる。(男性・67歳・内部)
- ・ 文書を読んでも自分が内容を読取れないことをとても丁寧に教えて頂いた。(女性・69歳・内部)
- ・ 利用者チェックが行き届いて窓口に行く手前から声掛けし、待っていても気にしていただいていることがわかり対応も良いです。(田無)。(女性・67歳・内部)
- ・ 窓口2つあるが対応している職員はひとりのことがある。そのときは、奥のデスクの職員がすぐ気付いて対応してくれる。(男性・63歳・内部)
- ・ 足が不自由だが、カウンターに行くと、必ず担当者が出てきてくれるので、他の部署よりずっと親切だと思った。(女性・62歳・上下肢)
- ・ 体が不自由なため庁舎には良く行っているがどの係の人も親切にしてくれる(男性・77歳・上下肢)
- ・ こちらからたずねたことには丁寧に対応していただけるため。窓口にいる際は、気付いたらすぐ対応していただけるのでありがたい。(女性・3歳・内部)
- ・ 市で提供しているサービス内容を把握していて相談しやすいことが多い。(女性・1歳・聴覚)
- ・ 手帳申請時に保谷庁舎で指定医療機関の名前等を教えてもらい、交付時に田無庁舎で受けられるサービスの説明をていねいに受けました。(男性・49歳・上下肢)
- ・ 保谷庁舎の窓口で担当してくださった女性の方の対応がとても良かったです。相談時の「それは大変ですね」や「それはお困りですよ」の一言でとてもうれしかったです。(女性・10歳・体幹)

② やや不満である・不満である

- ・ 「福祉サービスを利用させてやっている」というように感じるから、こちらに寄り添って考えていただけていると思えない。何のための規制かわからない規制がある。(男性・24歳・内部)
- ・ 聞いたことしか、答えてくれないと感じます。(男性・73歳・体幹)
- ・ 事務的な感じがします。障害福祉課の方は実際障害児者の学校・職場などの様子やそれぞれの障害の内容でどこが大変なのかを目で見ているのかと思う時があります。(女性・8歳・上下肢)
- ・ 障害者手帳と小児慢性と子育て支援と別の部署で情報の共有がされなくて、学校(就学相談)は子育て支援課にしるといわれて、投げやりだった。(女性・5歳・内部)
- ・ 介護施設の申込等について聞きに行ったら詳しい説明等を全くしてくれずパンフレット1枚を渡しただけでこれを見て問合せ等をして下さいと言われた。(男性・84歳・視覚)
- ・ 障害者手帳を申請に行った際、4級なんて受けても何も恩恵がないと云われました。職員の方々の人格を疑います。(女性・80歳・体幹機)
- ・ 人間対人間として、上から目線で云わないでほしい。(女性・74歳・上下肢)
- ・ たまに相手の口話でわからない時もある。筆談でもよいからいただきたい。(女性・58歳・聴覚)
- ・ 保谷庁舎の福祉課の人達が手話について理解されてないと思います。(女性・50歳・聴覚)
- ・ 高齢者や自分の様な聞こえにくい者に対する説明が不十分(女性・87歳・聴覚)
- ・ 対応が早口、小声、めんどくさそうにする。(男性・44歳・聴覚)
- ・ 障害福祉課に来たばかりで制度がわからない職員や、こちらの要求を受け止めていただけない職員が窓口にいることがある。(男性・67歳・音声)
- ・ 担当者の異動で、また1から説明となり時間がかかった。(女性・13歳・体幹)
- ・ 田無庁舎に行くとうからない事柄などその都度保谷庁舎の方に電話で相談しているので、手続きに時間がかかり、不便だと思うことがある。(女性・13歳・その他)
- ・ 前もって電話を入れてあるのに時間がかかることがある。(男性・26歳・体幹)
- ・ 電話での対応がすごく不親切でした。(女性・80歳・内部)
- ・ 土・日にスタッフを置いていない。障がい児を抱えているのに不便。人に預けるか留守番を頼まな

【身体障害者】

いと家を空けられないので。(女性・上下肢)

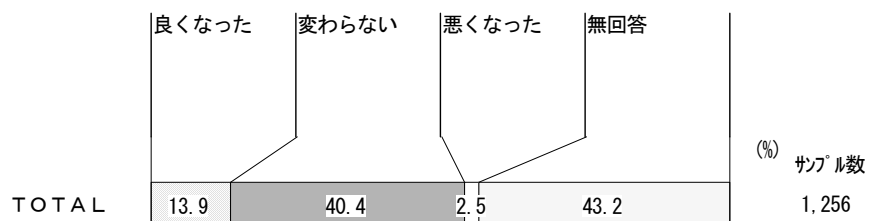
- ・ 仕事をしていると平日、窓口に行けない。(女性・52歳・内部)
- ・ 応対してくれる方にもよるが、感じが悪い時もある。必要なサービスを申請するのにこちらが恐縮する。(女性・14歳・体幹)
- ・ 窓口が2つあるなら、サービス内容も統一していただきたい(男性・3歳・聴覚)
- ・ 「身体障害者手帖のしおり」の最近の版のものが配布されない。(男性・82歳・内部)
- ・ 色々な手続についての説明がわかりづらい。(女性・79歳・上下肢)
- ・ 税務所や病院等の関連機関との手続の連携がなく、知識も不十分。(男性・33歳・上下肢)
- ・ 説明が難しかったり、あちこちの窓口へ行かされてとてもつかれます。(女性・69歳・上下肢)
- ・ 通りいっぺんの対応である。機械的・事務的で「相談」のイメージとは程遠い。そもそも窓口が、プライバシーに配慮された場所ではない。(男性・48歳・上下肢)
- ・ 提出した書類が処理されずに、机の中に入れっぱなしにされた経験がある。(女性・60歳・聴覚)

(5) 5年前との比較

問 39 約5年前(平成20年)と比べて、障害者のサービスはどのように変わったと思いますか。(○は1つ)

問 40 問 39 のようにお答えになったのは、どのような理由からですか。(自由記入)

5年前と比べて、障害者のサービスが「良くなった」と感じている人は13.9%、「悪くなった」と感じている人は2.5%である。



5年前に比べて障害者のサービスが良くなった、あるいは変わらない・悪くなったと回答した理由について、自由記入形式で回答を求めたところ、以下のような記入があった。

① 良くなった

- ・ 社会が成熟してきた。(男性・65歳・上下肢)
- ・ 先天的・後天的障害者を分別し、福祉行政の理解が向上した。(男性・87歳・上下肢)
- ・ 障害に対する社会の理解が進んだため。(男性・65歳・内部)
- ・ 障害者に対する偏見がなくなり、親切丁寧になったように思える。(男性・70歳・内部)
- ・ 障害者の立場になって物事を考えているから、良くなったと思います。(男性・66歳)
- ・ 制度の多種多様。(男性・70歳・内部)
- ・ 幅広いよく配慮されたサービスになっている。(男性・78歳・内部)
- ・ 様々な情報がオープンにされるようになったため。(男性・37歳・内部)
- ・ 色々な面でわかりやすくなった。(女性・77歳・上下肢)
- ・ フレンドリーができたから。(女性・47歳・上下肢)
- ・ まだ、5年たってないのでわからないが昔から比べたら(10年以上前)良くなるはなっているが、障害によってのみ(1部の障害)よくなった。(女性・52歳・内部)
- ・ 昔を良く知らないが、障害者手帳をもらってから感じたことはありがたいサービスが多いという印象。(女性・49歳・上下肢)

- ・ 補装具の支給・修理が可能になったこと。(女性・77歳・上下肢)
- ・ 相談窓口が増えた。(男性・31歳・平衡)

② 変わらない

- ・ 良くなったとは思えないから。(男性・70歳・聴覚)
- ・ 特に目立って変わったとは思わない。(男性・86歳・内部)
- ・ 特にサービス自体の、レベルがあがらなかったため。(男性・62歳・内部)
- ・ 特によくなったという感じはしない。隣の武蔵野市は福祉が良いと聞く。高次脳機能の3障害の施設があるようだ。西東京でも充実をはかってほしい。(女性・40歳)
- ・ 支給額が全然かわらないので。(女性・70歳・内部)
- ・ 中途障害者は変わらない。(男性・45歳・上下肢)
- ・ 自分が利用しているサービスの変化が感じられない。(女性・22歳・内部)
- ・ 特に便利になったとも不便になったとも感じないから。(女性・34歳・上下肢)
- ・ 利用できるサービスの条件に合っていないから。(女性・74歳・上下肢)
- ・ サービスの変化があったのかわからないため、変わらないと思っている。(女性・40歳・聴覚)
- ・ 所得の制限で利用したいサービスが利用できてないから。(女性・8歳・上下肢)
- ・ サービスは増えても老人がふえてとりあいになるようだ。(男性・85歳・内部)
- ・ 10年前と比べると良くなったと思うが、5年の単位では変化はわからない。(男性・44歳・上下肢)

③ 悪くなった

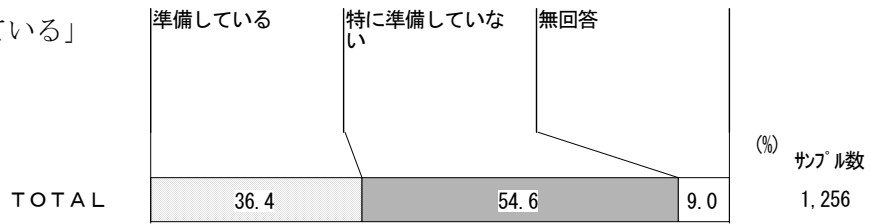
- ・ 時間が少なくなった。(女性・73歳・上下肢)
- ・ 食事など家事に関するサービスが失くなったこと。(女性・76歳・上下肢)
- ・ オムツの無料配布がなくなり1割負担になったこと。(女性・72歳・体幹)
- ・ 負担金などが増えた。(女性・14歳・体幹)
- ・ 経済的支援が厳しくなったと思う。(女性・82歳・上下肢)
- ・ 介護保険制度が優先されるようになったため、障害者の自立を目指す制度が全く使えなくなってしまった。(女性・61歳・上下肢)
- ・ 現在、「ゆずりは作業所」に通っているが入所した6年位前はお金がかからなかったが収入もないのに現在は障害年金だけなのに有料である。(男性・59歳・上下肢)
- ・ 書類ばかりが多くなりサービス向上に予算が使われていないようである。(男性・67歳・音声)
- ・ 総じて縮小傾向にあるように感じられる。(男性・48歳・上下肢)

10 災害対策について

(1) 災害への備え

問 41 災害に備えて何か準備をしていますか。(〇は1つ)

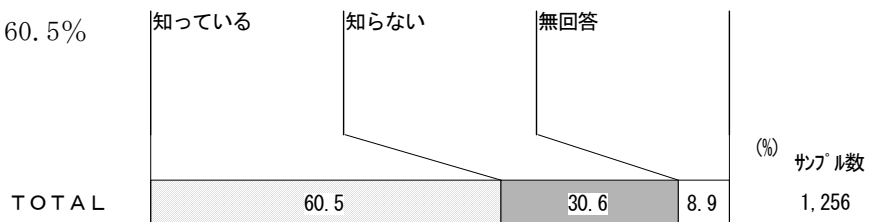
災害に備えて何か「準備している」人は、36.4%である。



(2) 避難所の認知状況

問 42 避難所を知っていますか。(〇は1つ)

避難所を「知っている」人は60.5%である。

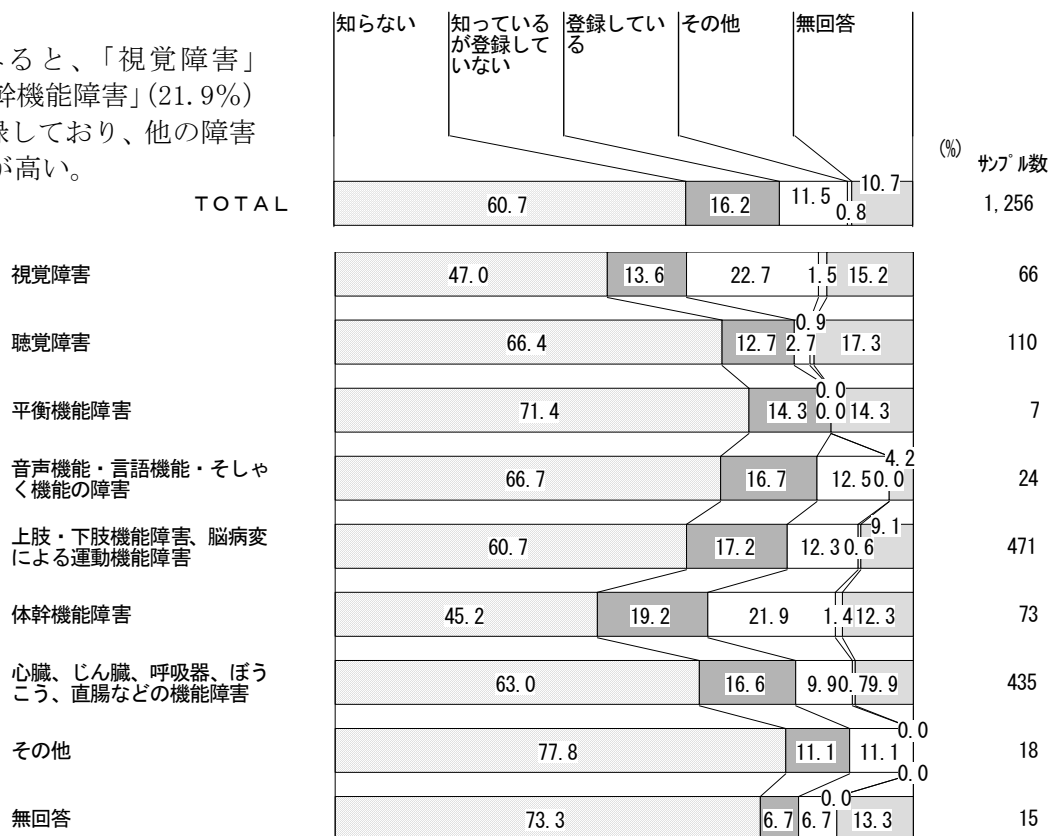


(3) 災害時要援護者登録の認知状況

問 43 災害時要援護者登録を知っていますか。(〇は1つ)

災害時要援護者登録については、約6割が「知らない」(60.7%)と回答している。

障害種別にみると、「視覚障害」(22.7%)と「体幹機能障害」(21.9%)は、約2割が登録しており、他の障害に比べて登録率が高い。



(4) 地震や台風などの災害が起こった際の不安

問 44 地震や台風などの災害が起こった際の不安は何ですか。(〇はいくつでも)

地震や台風などの災害が起こった際の不安としては、「避難する際の不安」(45.6%)と「避難先での不安」(45.3%)をあげる人がそれぞれ4割を超えて多くなっている。

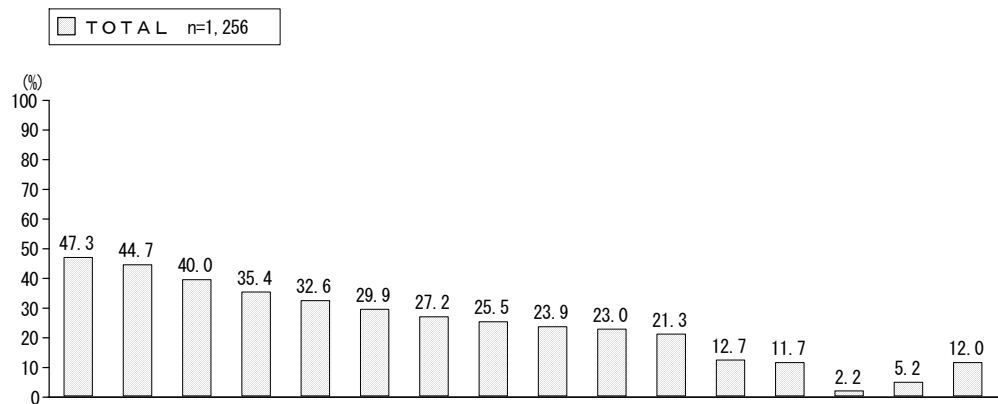
障害種別にみると、視覚障害と聴覚障害では「災害の状況が伝わってこない場合の不安」(視覚障害42.4%、聴覚障害44.5%)が、他の障害に比べて高くなっている。また、視覚障害と体幹機能障害は、「避難先での不安」と「避難する際の不安」をあげる人がそれぞれ5割を超えており、不安を持つ人が多い状況がうかがえる。

	n	避難する際の不安	避難先での不安	災害の状況が伝わってこない場合の不安	その他	特くない	わからない	無回答
TOTAL	1,256	45.6%	45.3	36.3%	6.9%	10.0%	7.3%	11.1%
視覚障害	66	54.5%	51.5%	42.4%	9.1%	4.5%	4.5%	16.7%
聴覚障害	110	33.6%	40.0%	44.5%	7.3%	9.1%	10.0%	16.4%
平衡機能障害	7	42.9%	28.6%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%
音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	24	41.7%	41.7%	37.5%	16.7%	16.7%	4.2%	—
上肢・下肢機能障害、脳病変による運動機能障害	471	53.3%	49.9%	34.8%	5.9%	8.5%	7.0%	10.0%
体幹機能障害	73	58.9%	53.4%	31.5%	5.5%	12.3%	4.1%	2.7%
心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸などの機能障害	435	36.8%	41.4%	34.3%	7.6%	11.7%	8.5%	11.7%
その他	18	55.6%	38.9%	50.0%	11.1%	16.7%	—	—
無回答	15	40.0%	40.0%	53.3%	6.7%	—	—	13.3%

(5) 必要な災害対策

問 45 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

必要な災害対策としては、「治療や服薬を継続できるための医療を確保する」ことをあげる人が47.3%と最も多い。



問2 性別	n	問 45 必要な災害対策 (%)															
		12	1	6	11	5	3	4	9	13	7	8	2	10	14	15	16
0 TOTAL	1,256	47.3	44.7	40.0	35.4	32.6	29.9	27.2	25.5	23.9	23.0	21.3	12.7	11.7	2.2	5.2	12.0
1 視覚障害	66	30.3	33.3	31.8	25.8	28.8	21.2	22.7	22.7	15.2	18.2	51.5	10.6	13.6	1.5	1.5	22.7
2 聴覚障害	110	35.5	33.6	26.4	24.5	30.0	27.3	28.2	14.5	18.2	10.9	50.9	16.4	25.5	0.9	10.0	14.5
3 平衡機能障害	7	42.9	42.9	14.3	42.9	42.9	28.6	28.6	28.6	42.9	28.6	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3
4 音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	24	41.7	50.0	29.2	45.8	37.5	37.5	20.8	20.8	16.7	20.8	29.2	16.7	8.3	4.2	8.3	8.3
5 上肢・下肢機能障害、脳病変による運動機能障害	471	48.6	48.2	48.6	41.6	35.0	32.5	28.2	31.0	24.8	18.5	17.2	14.0	12.7	1.5	4.5	11.9
6 体幹機能障害	73	53.4	43.8	54.8	46.6	31.5	26.0	23.3	39.7	35.6	21.9	13.7	12.3	6.8	4.1	5.5	4.1
7 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸などの機能障害	435	51.3	45.5	35.4	30.3	30.3	29.9	27.6	20.0	24.1	32.6	15.2	10.8	8.0	3.2	4.8	11.5
8 その他	18	44.4	61.1	16.7	38.9	50.0	27.8	33.3	22.2	16.7	22.2	11.1	11.1	5.6	0.0	11.1	0.0
9 無回答	15	33.3	26.7	33.3	26.7	26.7	26.7	26.7	40.0	20.0	20.0	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	20.0

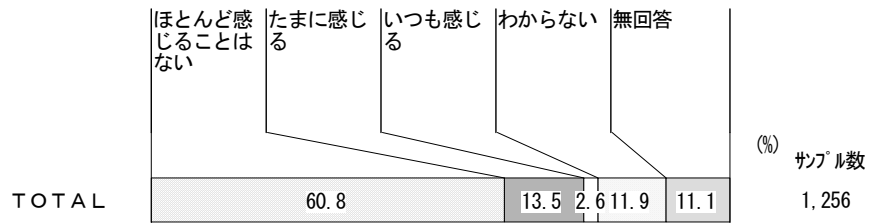
11 差別や人権侵害について

(1) 差別や人権侵害、虐待の状況

問 46 障害があることで、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

問 47 具体的には、どのようなときに、差別や人権侵害、虐待を受けていると感じますか。

差別や人権侵害、虐待については、約6割の人は「ほとんど感じることはない」(60.8%)が、2.6%は「いつも感じる」、13.5%は「たまに感じる」と回答している。



【参考】平成13年度調査結果との比較

「ほとんど感じることはない」は13年度に比べて4.2ポイント増加、「いつも感じる+たまに感じる」は7.7ポイント減少。

	ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない	無回答
13年度 n=2,434	56.6%	19.4%	4.4%	10.4%	9.2%

差別や人権侵害、虐待の内容としては、具体的に以下のような記入があった。

① 言葉や視線

- ・ 町中を歩いているとき。(女性・69歳・視覚)
- ・ 今は主人がいつも一諸なので感じないけれど、一人で家にいるときとか一人で外出したとき。(女性・79歳・聴覚)
- ・ 歩いている時に、じろじろ見られる。差別的な言葉を言われる。(女性・33歳・上下肢)
- ・ 障害のある子どもをじろじろ見られることはしょっちゅうです。買い物していると車イスはじゃまあつかいされたり、エレベーターに乗れなかったりします。(男性・9歳・体幹)
- ・ じーっと見られたり、こそこそこっちを見ながら話して目が合うとそらす。(女性・5歳・上下肢)
- ・ カニューラを鼻につけて外出したとき、外国の都市にくらべて日本人は障害者をいやにジロジロ見る人たちだなあと思う。(男性・67歳・上下肢)
- ・ 言葉による差別(男性・60歳・聴覚)
- ・ 学校で「がいしゃ！」と言われることがある。(男性・15歳・視覚)
- ・ お気の毒にとか、かわいそうにとかを耳にするとき(男性・71歳・音声)
- ・ 「ああはなりたくない」という目で見られることがある。(女性・57歳・上下肢)
- ・ 中年女性(50才後半～60才代位)のグループにエレベーターを降りたとたん大声で「あの人が可哀想にね。あれじゃ結婚もできないんじゃない」と言われた。このような言葉の暴力やマナーの悪さにびっくりします。(女性・55歳・上下肢)
- ・ びっこと言われる。(女性・71歳・上下肢)
- ・ つんぼと笑われる。(女性・97歳・内部)
- ・ 声が出づらい。首に手術のあとがあり見られている気がする。(男性・62歳・音声)

② 就労・職場

- ・ 障害者採用というだけで、賃金の差異を考えていただきたい。(男性・34歳・上下肢)
- ・ フルタイムの正社員として雇ってもらえない。(男性・50歳・内部)
- ・ 職場での待遇 (男性・48歳・上下肢)
- ・ 障害があることで給料があがらない。グレードの最低ラインに下げられた。(男性・52歳・聴覚)
- ・ 聴覚障害なのに「聞こえるように努力しろ」などと言われる。給与がどんどん下がってくる。(男性・48歳・聴覚)
- ・ 障害を受けることになった病気が原因で、職場を辞めさせられた。(女性・49歳・内部)
- ・ 職場での配慮が無い。(男性・57歳・上下肢)

③ 交通機関

- ・ タクシーに乗った時に障害者手帳をいただいているという、返事をしない運転手さんがいる。(女性・65歳・上下肢)
- ・ バスを利用するとき、障害者手帳を出して料金を支払うと、運転手さんにいやな顔された。通院時もタクシー券を使おうとしたところもんくを言われることがある。(女性・内部)
- ・ 交通機関で席をゆずってくれたことがない。ぶつかられる、口に出して文句を言われる。(男性・45歳・上下肢)
- ・ 電車などの事故のときに、情報が音声だけで聴覚障害者はなおざりにされていると感じる。(男性・44歳・聴覚)

④ 障害に対する理解不足や誤解

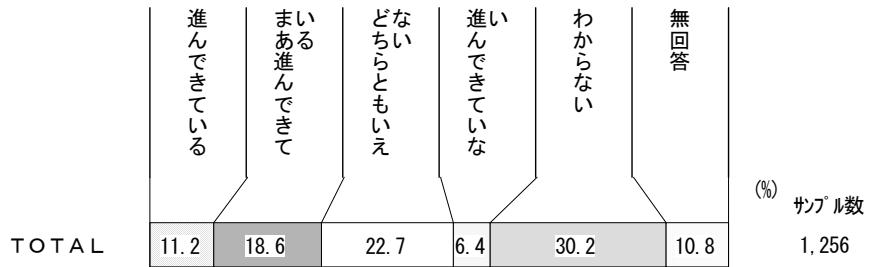
- ・ 内部障害は他人わからず、健康体に見えるため、バスやトイレの使用のときに白い眼で見られる。(男性・62歳・内部)
- ・ 内臓疾患による障害のため、外見では障害があるように見えず、優先席を利用していると「若いのに座っているの？」という目で見られるのですごく気を使ってしまう。(女性・34歳・内部)
- ・ 聴覚障害なので、コミュニケーションに手間がかかるが、知的的に劣っているような対応をする人がたまにいる。(女性・49歳・聴覚)
- ・ ただ聴こえないってことが理解してもらえない。誤解が多い。(女性・50歳・聴覚)
- ・ 聴覚障害者に対して、不幸と言われている人がいます。「不幸」×ではなく、「不便」○であること。(男性・70歳・聴覚)
- ・ 言葉が通じなくても、本人は聞いて理解することはあります。一人の人間として同じように扱ってほしい。(男性・70歳・上下肢)
- ・ できるかできないか未だ判らないのに、初めからできないと決めつけないでほしい。(女性・72歳・体幹)
- ・ こちらの意志を確認しないで、勝手に親切にされるとき。(女性・63歳・上下肢)
- ・ 自分がそそうした時、急にお腹をこわした時、人前でガスが出た時などです。(女性・70歳・内部)
- ・ よく聴こえないとき、相手にされなくなる。いやな顔をされる。(男性・75歳・聴覚)
- ・ しゃべれないのを知っていて無視をされて、なかなか頼んだことをしてくれないと感じたことがある。(女性・62歳・音声)
- ・ ハード面を整備すれば他人の手をかりずに自立できるのに、国・都・市など行政の整備不足で他人にお願いをしなければならない。(男性)

【身体障害者】

(2) 市民理解の進捗

問 48 障害や障害のある人に対する市民の理解は進んできていると思いますか。(○は1つ)

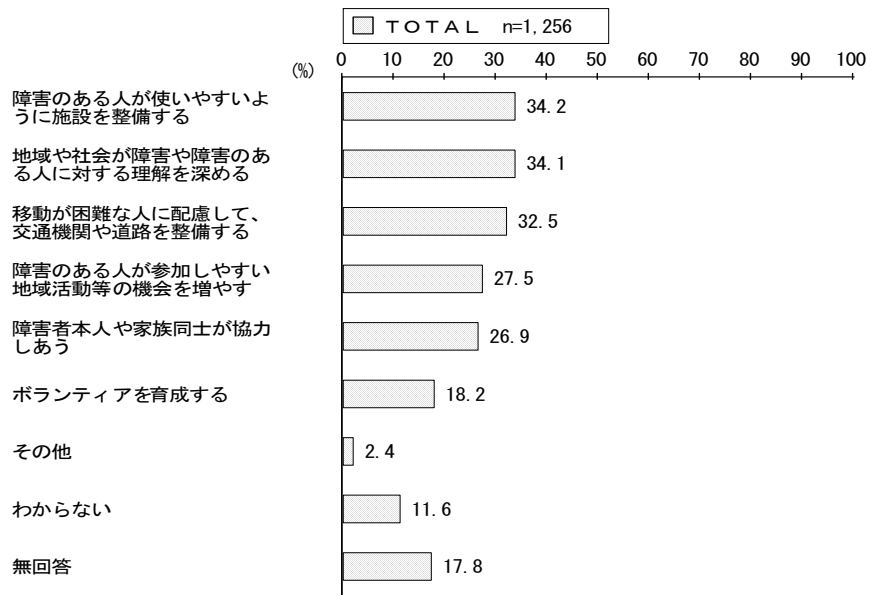
障害や障害のある人に対する市民の理解が「進んできている」と考えている人は11.2%、「まあ進んできている」(18.6%)をあわせると、約3割の人は市民の理解が進んできていると考えていることがわかる。



(3) 障害のある人が地域や社会に参加するために大切なこと

問 49 障害のある方々が地域や社会に積極的に参加するために、特に大切なことは何だと思えますか。(○はいくつでも)

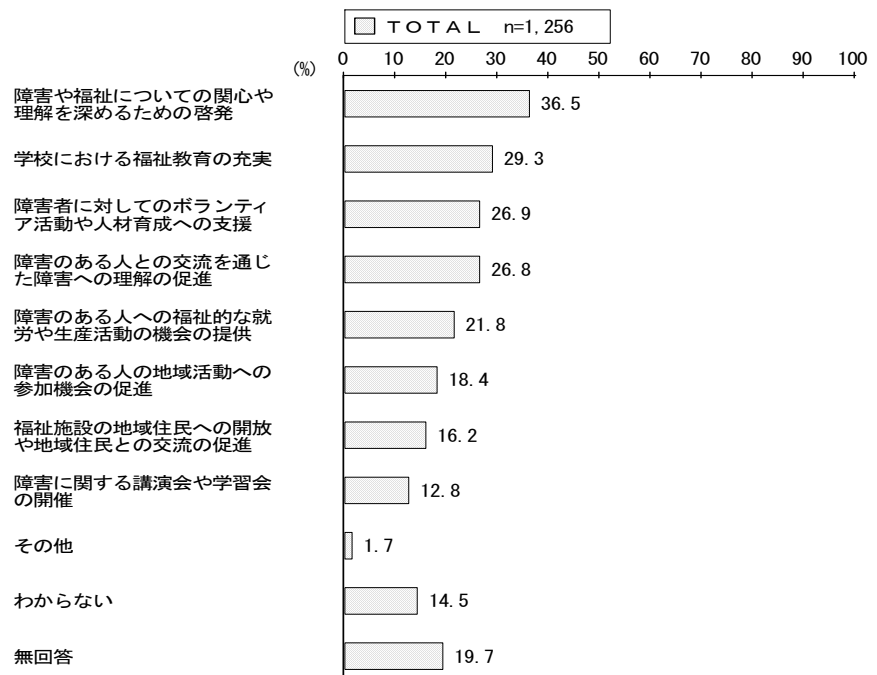
障害のある人が地域や社会に参加するために大切なこととしては、「障害のある人が使いやすいように施設を整備する」(34.2%)、「地域や社会が障害や障害のある人に対する理解を深める」(34.1%)、「移動が困難な人に配慮して、交通機関や道路を整備する」(32.5%)がそれぞれ3割以上あげられている。



(4) 障害や障害のある人への理解を深めるために必要なこと

問 50 障害や障害のある市民への理解を深めるためには、何が重要だと思いますか。(○はいくつでも)

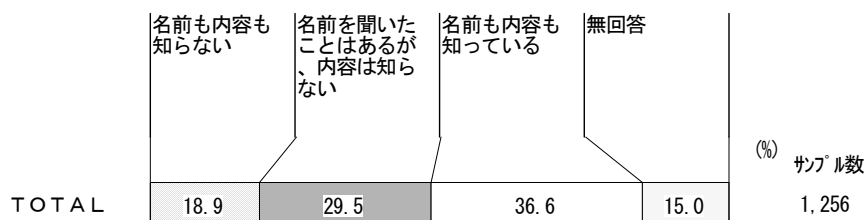
障害や障害のある市民への理解を深めるためには、「障害や福祉についての関心や理解を深めるための啓発」が必要だと考えている人が36.5%と最も多く、次いで「学校における福祉教育の充実」が29.3%で続いている。



(5) 成年後見制度の認知状況

問 51 成年後見制度とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(〇は1つ)

成年後見制度について、「名前も内容も知っている」人は36.6%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」人は29.5%であり、約2割は「名前も内容も知らない」(18.9%)状況である。

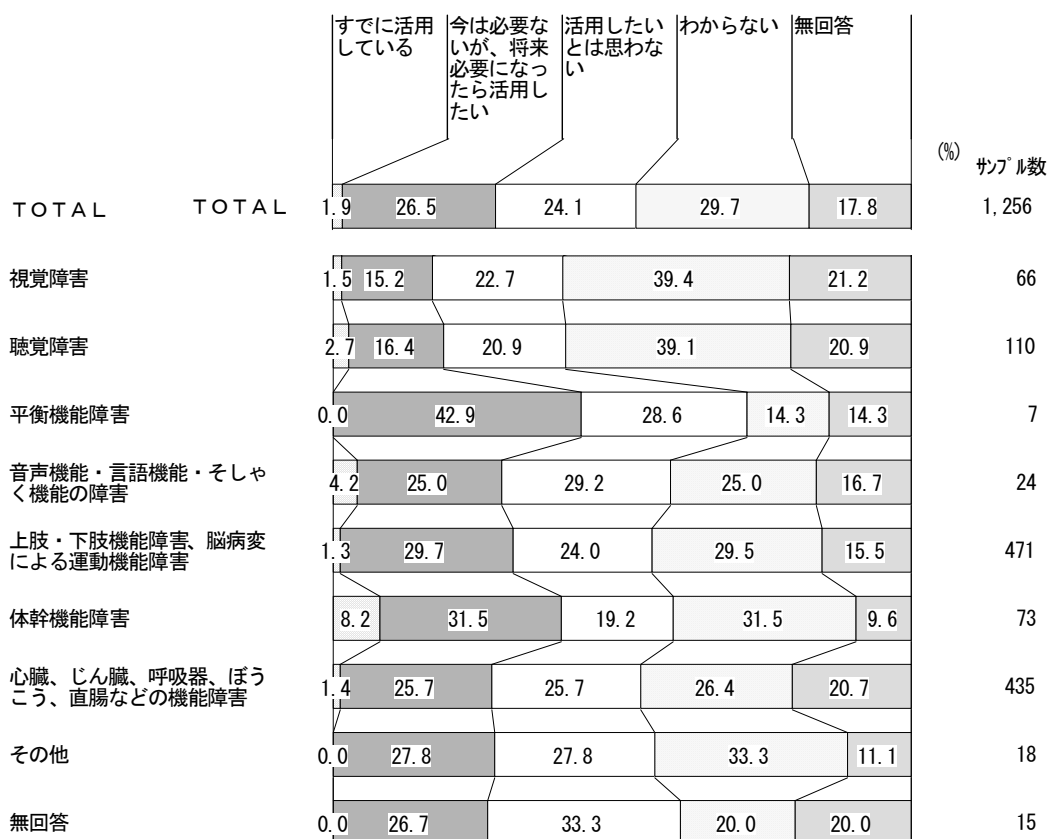


(6) 成年後見制度の利用意向

問 52 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。(〇は1つ)

成年後見制度を「すでに活用している」人は1.9%、「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と考えている人は26.5%で、約3割の人には利用意向がある。

障害種別にみると、体幹機能障害では、「すでに活用している」が8.2%、「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」が31.5%となっており、約4割の人に利用意向がある。



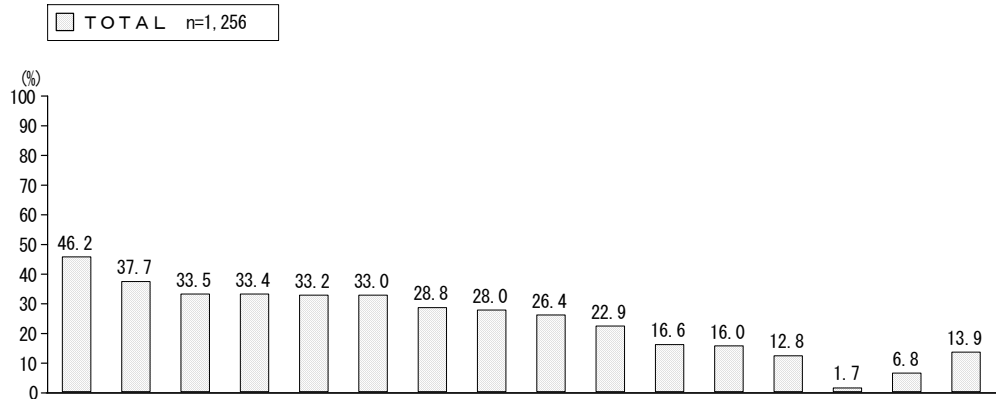
12 市への要望等

(1) 充実させていくべき障害者施策

問 53 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

今後、市が充実させていくべき障害者施策としては、「福祉のまちづくりを推進すること」があげる人が46.2%と最も多く、次いで「予防とともに早期に発見し、早い段階で適切な対応に努めること」が37.7%で続いている。

年齢別にみると、18歳未満では、「障害のある子どもたちの可能性を伸ばす教育を進める」が74.1%と特に多く、次いで「利用できる施設を増やすこと」が55.6%で続いている。18～64歳では「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」をあげる人が52.7%と最も多い。

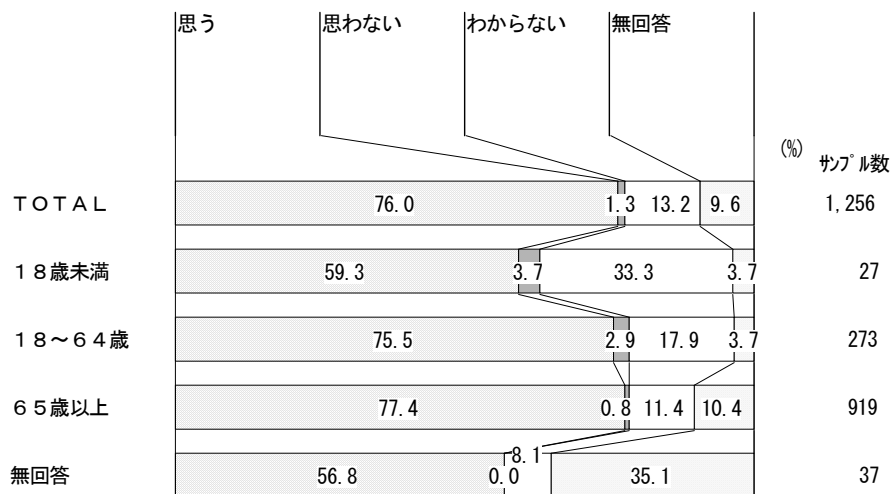


問3 年齢 (3区分)	n	7	1	3	4	5	11	6	8	12	2	10	9	13	14	15	16
		「福祉のまちづくり」を推進すること	予防段階とともに早期に発見し、早い段階で適切な対応に努めること	障害のある子どもたちの可能性を伸ばす教育を進めること	障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること	在宅生活支援サービスを充実させること	障害者サービスや福祉情報提供を充実させること	利用できる施設を増やすこと	居を確保整備すること、障害のある人が住みやすい住居を確保すること	相談体制を充実させること	障害に対する理解を深めること、障害者に対する偏見を減らすこと	ボランティア活動を充実させること	文化、スポーツ活動などに参加できるような支援すること	成年後見制度が利用しやすく、成年後見制度が利用しやすくなるように支援すること	その他	特になし	無回答
0 TOTAL	1,256	46.2	37.7	33.5	33.4	33.2	33.0	28.8	28.0	26.4	22.9	16.6	16.0	12.8	1.7	6.8	13.9
1 18歳未満	27	40.7	48.1	74.1	48.1	48.1	51.9	55.6	44.4	51.9	44.4	29.6	33.3	14.8	11.1	0.0	7.4
2 18～64歳	273	44.3	36.6	41.4	52.7	27.1	41.8	31.5	35.5	31.1	30.0	16.8	18.7	15.4	3.3	4.4	5.9
3 65歳以上	919	47.1	38.1	30.0	27.7	35.1	29.9	27.9	25.7	25.0	20.5	16.4	14.9	12.0	1.0	7.4	16.0
4 無回答	37	40.5	29.7	32.4	18.9	18.9	29.7	13.5	18.9	8.1	13.5	10.8	10.8	13.5	0.0	16.2	27.0

(2) 居住継続意向

問 54 今後も西東京市に住みつづけたいと思いますか。(○は1つ)

76.0%の人は、今後も西東京市に住み続けたいと「思う」と回答している。
年齢別にみると、18歳未満では、すみ続けたいと「思う」人の割合が約6割(59.3%)と18歳以上に比べて低くなっている。



【参考】平成13年度調査結果との比較

「住み続けたいと思う」は13年度に比べて0.1ポイント減少。

	住み続けたいと思う	住み続けたいと思わない	わからない	無回答
13年度 n=2,434	76.1%	2.8%	15.9%	5.2%

(3) 意見・要望等

調査の終わりにあたり、調査を通じて表現しきれなかったことや、障害者施策等に対する意見・要望についての自由記入欄を設けたところ、数多くの意見・要望が寄せられた。内容はきわめて多岐にわたっており、本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介することとする。掲載にあたっては、特に多くの方から寄せられた意見・要望や、調査票の設問からは浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望を、できる限り原文に近い表記で紹介するよう心がけた。

① 外出時の環境整備など福祉のまちづくりに関すること

- ・ ひばりヶ丘などは車いすだと車道を歩く。何十年も変わらず、25年経っているのに、ひばりヶ丘からタクシーはのれない。段差があるので車いすだと乗れない。(男性・63歳・上下肢)
- ・ 車道から歩道への段差を少なくして欲しい。(男性・81歳・体幹)
- ・ 歩道の利用が本当につらいです。車いすをおしていると、100mごとに通れない場所にあたってしまいます。狭いため、人とすれちがうことができません。幅はどうしようもなくても、歩道のかたむきはどうにかならないのでしょうか。(女性・57歳・上下肢)
- ・ 府中道が狭く、事実上、車いすでは危険で通行できないため、歩道整備を進めて欲しいです。(男性・38歳・体幹)
- ・ 公共施設はもちろん、スーパー、駐車場のある商店等、多数の人が利用する所では必ず、障害者用の駐車場を設置すること。健常者の使用を防ぐための措置をすること。(男性・81歳・体幹)
- ・ 一般レジャー、飲食店等に手すりの取り付けを早く義務づけする。(男性・69歳・上下肢)
- ・ 個人商店(時に飲食店)は立ち寄りたくても、段差や階段などで入れない店が西東京市には多く感じます。市の助成などで個人店をバリアフリー化できれば、障害者も地元の店に通えるようになり、市民間の交流も可能になるかと思います。(男性・38歳・体幹)

【身体障害者】

- ・ かえで通りをよく歩いたりしますが、昼間は高齢者が多いように思います。足が悪く杖をつきながら歩いている人の脇をすごいスピードで自転車が行き来しているのが毎日の光景です。歩道を広げて、自転車のレーンを設けてくれると歩行者もゆっくり歩けるのですが。(女性・62歳・上下肢)
- ・ 障害者向けの割引やサービスを提供しているにも関わらず、表に明記せず、わかりにくくしている施設やサービスショップがけっこうたくさんある(美術館や映画館とか)。目につきやすいところへ掲示するようもっと指導が入るとよいと思う。(女性・49歳・上下肢)
- ・ お年寄りやハンディキャッパーが商店街で気楽に買い物ができるようなインフラ整備をお願いします。外出したくなるような安全で楽しい街づくりこそ、自室から町へと人を誘導し、医療費を軽減し、地域を活性化するのではないのでしょうか。(女性・61歳・上下肢)

② 移動・交通機関に関すること

- ・ 交通の問題は最も考えてほしいです。はなバスは車いすの人が乗れるバスじゃないですよ。もう少し工夫が必要ではないでしょうか。障害者+高齢者専用バスとか。(女性・57歳・上下肢)
- ・ 7月からはなバスが150円に値上りするとのこと。障害者手帳所持者の半額制度を切に希望いたします。(高齢者も含めて)(女性・80歳・上下肢)
- ・ 「はなバス」も利用しますが、もう少し台数を増やして欲しい。せめて、1時間に4本位だと、自転車を使わずに駅まで乗れるのですが。(女性・62歳・上下肢)
- ・ 身障害者手帳の4級には駐車禁止の場所への駐車許可が与えられていない。4級でも通院などで車は必要で、4級でも許可できるようにしてもらいたい。(男性・82歳・内部)
- ・ バスに乗る時、障害者手帳を見せたのに半額にならない時が2回程ありました。運転手さんもうっかりしたのですが、後でパスモの履歴を確認すると半額になっていなかったのが、手帳を見せるのに勇気も要るので、半額にする配慮を忘れないでほしい。(女性・47歳・上下肢)

③ 情報提供に関すること

- ・ 娘が障害をもって生まれた時、何の情報もなく、本当に大変な日々でした。母子手帳をもらうときなどに「もし障害をもってしまったら」といったような簡単な冊子とかを事前にいただけたら、いいと思います。また、ネットで見られるようになったらいいです。(女性・3歳・上下肢)
- ・ 施設と活動内容等を、よくわかるように連絡してもらいたい。(男性・77歳・音声)
- ・ 障害者のしおりをいただきましたが、もっと身近な場所で普通の方たちと趣味等を交流できる場所がわかれば良いと思います。特に難聴者は人前に出ると話し方も消極的になりやすいし、外出もおっくうになります。高齢になるとますます人との対話も少なくなり、日中家族が居なくなると淋しく感じます。一週間に一度でも良いから交流できたら良いと思います。(女性・82歳・聴覚)
- ・ 福祉課に手話ができない人が多くて何と言っているのか、ちょっとめんどくさいや足りないです。手話をずっと続けてほしいと思います。(女性・50歳・聴覚)

④ 手続きに関すること

- ・ 支援、介護申込んでから、認定までの時間がかかりすぎる気が致します。(女性・73歳・上下肢)
- ・ サービスを受ける手続きや申請が非常に大変です。家族や代理人に依頼しても平日17時までには役所に行くのもむずかしいです。ネットやTELで手続き、申請ができるよう、またもっとサービスが受けやすくなるよう努力して下さい。(女性・74歳・上下肢)
- ・ 申し込みする時いつもTel番号しか書いてない。必ずFax番号を書いてほしい。メールも対応してほしい。Fax・メール返答はすみやかに返事応答すべきだ。いつまでも待たせているとイライラする。Telならすぐ応答できるからうらやましい。そういうことわかってほしい。見えない障害者は、理解してもらえないので、とても苦痛です。(女性・50歳・聴覚)
- ・ 難病等、医療費等助成などの申請に必要な医師に依頼する文書料など無料にできないのでしょうか。又、更新期間をもう少し長くしてほしい。(女性・82歳・視覚)

⑤ 相談に関すること

- ・ 障害者が援助を必要とした時先ず、どこに相談したらよいか知らせること。(女性・74歳・聴覚)
- ・ 役所において、まだ障害者・家族にとって相談しづらい体制になっている。(女性・65歳・上下肢)
- ・ 主人が土・日仕事などで、休日は外に連れ出すのが私1人では困難で、家の中で過ごしています。家の事情なので仕方ないのですが、どうにかならないかなと考えています。悩みがあっても市の窓口だと相談できる雰囲気ではないように思います。(男性・9歳・体幹)
- ・ 自分自身、介護保険受給者ですが、先天性障害者でもあるので障害福祉課は、障害者としての対応もしてほしい。今のところ、65才以上ということで、障害福祉課からは相談にいつでも門前払いの状況です。(男性・65歳・上下肢)

⑥ 各種サービスに関すること

- ・ 現在は人の手を借りずに生活ができている。将来にはある程度不安を感じている。今後の行政を考えると極力当該者の自立支援をサポートすることと思う。但し重度の方は別。(男性・65歳・上下肢)
- ・ 高齢者になってからの聴覚障害者は、ある程度年齢的なものがあるので、障害手帳を発行するだけでなく年齢的な福祉サービスを行ったほうが良いと思う。(女性・87歳・聴覚)
- ・ ヘルパーを派遣してもらっていますが、時間、サービス内容に大きな制約があり不便です。ちょっとした手助けが必要なとき、近所にすぐ来て助けてくれる人が欲しいので、緊急人員派遣制度を行政で作成支援していただきたい。(女性・72歳・体幹)
- ・ 何度も死を覚悟し、その都度、何とか普通の生活を送りたいと制度を利用して参りました。藁をも掴む時は心も折れ、ちょっとした言葉で傷ついたりします。本人も家族も模索し努力し、それから制度にたどり着くと思います。心ある対応・制度運用の努力もお願いしたい。(男性・36歳・体幹)
- ・ 日常生活用具の給付ですが、目覚し時計の補助金があるとよいと思います。毎日、親がいても一人で起きるので、寝坊にならないように振動のある目覚し時計を置きたい。(女性・40歳・聴覚)
- ・ 舌咽喉がんにより自分の声を失いました。その後手術により“シャント法”にて発声できるようがらんばっております。シャント発声法で日常的に使い交換しなければならない人工鼻を日常生活用具として認めていただきたいと思います。(男性・69歳・音声)
- ・ 訪問介護に白衣を着て来られると、病人を近所に意識させる。何かいい方法はないものか。(男性・76歳・聴覚)
- ・ 私は障害のある子どもの介護に24時間をつぎ込んでいますが、どうしても何日か子どもを預けたい時、1ヶ月に7日までしか預けられません(ショートステイ)。7日以上続けて使いたい時は理由を伝えて延長していただかなくてはなりません。(男性・24歳・内部)
- ・ 情報を共有するためにインターネット料金の無料、講習など、本人から発信できるように。(男性・65歳・上下肢)
- ・ 私(父親)は勤めていて、昼間家に居ない。母親は病院にいる子ども(障害児)のところに行きたいが、小さい子どもが3人いるから外出できない。子どもを預かってくれる保育園があればいい。(男性・5歳・上下肢)
- ・ 生活用具の支援をもっと行って欲しい(家族と同居で支援されない物が多いが、調理器具等支援してもらえらる事により本人が出きる事が増え、又生活がしやすくなる)(男性・37歳・視覚)
- ・ ケアマネジャーの教育をしっかりとしてほしい。とても頼りないケアマネジャーがいます。(女性・74歳・上下肢)
- ・ 大病による入院、手術の後、通院しながら在宅治療、投薬で頑張っているが、ケアマネジャーは気軽に緩和ケア、ターミナルケアの情報を伝えてくれる。仕事上、馴れたやりとりでも、少し患者、家族の心理を勉強してほしい。(男性・76歳・聴覚)

【身体障害者】

⑦ 各種施設等の整備に関すること

- ・ 市の施設を年齢に関係なく利用できるようにしてもらいたい。(女性・63歳・上下肢)
- ・ 肢体不自由のグループホームをもっとつくって下さい。(男性・67歳・音声)
- ・ 若年からの事故・病気による障害者に対する施設が全くといっていい程にありません。50歳台位mでの人が利用する施設(特に入所)を作ってほしいです。(男性・43歳・体幹)
- ・ 家族のいない1人暮らしはオーシャンハウスみたいな所が多くできて皆んなが入れたらいい。(女性・75歳・上下肢)

⑧ 教育に関すること

- ・ 市の特別支援学校を設立してほしい。または、自宅近くの普通校に支援学級または介助員を配置してほしい。わざわざ遠方の学校へ通学するのは差別を受けている気分になる。(男性・3歳・聴覚障害)
- ・ 小中学校内に設置される「難聴学級」の数が全体的に少なく、もし難聴学級のある学校に通わせたいとなった時の通学負担を懸念しています。(女性・1歳・聴覚障害)
- ・ 特別支援学校では順序だった勉強はしません。親が教える、もしくは塾に通わなくては、基礎学習(読む・書く・計算 etc)を学べないのが現状です。これで就労を目指すのはかなり難しいのではないかと思います。障害児教育にも力を入れて頂けたらと思います。(女性・8歳・上下肢)
- ・ 社会の中で障害者が健常者と変わらず、普通に学ぶ事ができ、普通に生活していけるようになってほしいです。今は学校も別々で理解しあうこともできません。一時的、短期間の交流はありますがそれでは不十分です。(女性・10歳・体幹)
- ・ 私は娘を育ててきて市や健常者側にお願い理解を求めるだけではなく、障害のある娘やその親も、歩みよるための努力が必要だと思っています。建物の設備、先生が少ないなどの理由で幼稚園や普通学級ではなく療育センターや特別支援学校へ進められますが、最初から一緒だったら、改めて理解を求めなくてもいいのかなあと思ったりします。(女性・8歳・上下肢)

⑨ 雇用・就労に関すること

- ・ 自立にむけての職業訓練の場を作ってもらいたい。(女性・63歳・上下肢)
- ・ 西東京市にもA型B型の就労支援を早くできるように願っています。(男性・54歳・上下肢)
- ・ 健常者さえも就職難の時代に仕事をさがせ、仕事をせよ、となると自発的に動けなくなる。障害を持った者は十人十色だその人にあった生き方を認め、押しつけはやめてほしい。(女性・56歳・音声)
- ・ 就労支援を行って欲しい。(男性・37歳・視覚)
- ・ 障害者の雇用促進は大事だが、働いてからの就労状況が本人に合っているか、また給与も適正であるかが大事で、この点についても深く議論を進めてほしい。(男性・48歳・聴覚)
- ・ 重度の人たちを考えると働く場所が本当に少ない。福祉作業所は入っても収入はほとんど無いと同じだし、送迎などのサービスは劣っている様に思う。(女性・79歳・内部)
- ・ 現在、高次脳機能障害をもっている主人は「ゆずりは作業所」に通っています。「一步」にも登録してありますが、就職は年齢的にも難しいのか、ここ数年は何も情報もありません。収入面、60才以降もきちんと通える場所があるのか、将来的に不安です。障害のある高齢者の通所できる場所や収入面も安心できるサービスを期待しています。(男性・59歳・上下肢)

⑩ 社会参加、余暇活動等に関すること

- ・ 自分の趣味をいかせる場がほしい。もっているものを(免状)人に教えたい。(女性・72歳・内部)
- ・ 障害のある子どもが市内にどの位いるのかわかりませんが、利用できる水泳教室、イベント、おまつりなど行っていただきたいと思います。(男性・9歳・体幹)
- ・ 介護人付きでかまわないので、肢体不自由(者)(児)も使えるようにプールを造ってもらいたい。時間を決めてでもよいので、利用できるようにしてほしい。(女性・6歳・体幹)

⑪ 経済的な援助に関すること

- ・ 手当等に所得制限を設ける意味がわからない。いつまで働けるかわからない不安のため、働ける今120%頑張っているのに。就労意欲がうすれる。まるで所得が増えたら、障害が治るとでも思っているのかのようだ。(男性)
- ・ 喉頭全摘後、声の機能を取り戻す為、プロボックスをつけたが、気管口の手入れ等にかかる負担が大きく(1ヶ月2~3万円)市が補助していただけると助かる。(男性・62歳・音声)

⑫ 理解や権利擁護、差別・人権侵害等に関すること

- ・ ペースメーカーの患者は外見上健常者と同じで、全く区別がつかない。従って心臓の直近で電気器具を使われ、あわてて避けることがある。シルバーシート域内、及び境界周辺では、マナーモードに拘らず、一切電源を切ることを全国的に徹底するよう、西東京市より、運輸局に申入れていただければ有難い。(男性・91歳・内部)
- ・ 日本は福祉がとても貧しいと思います。それに健康な人は、「知る・理解し、協力する」が足りません。健康だと思っている人が、いつ障害者になるかわかりません。他人事(ひとごと)でなく自分に置き換えて考える必要がありますね。(女性・79歳)
- ・ TVで成年後見人制度を利用したら選挙権(投票所での投票)ができなくなることを知りました。付きそい人がいれば投票できるので改めてほしいと思います。不正が心配であれば、選挙管理人が居るのだから注意するか見守れば良いと思う。(男性・49歳・上下肢)
- ・ 一番大切なのは教育です。小さい時からいろいろな障害を持った人と共に過ごすインテグレーションはお金も人手もかかりますが、見慣れているとそれが普通になって、当たり前になることが障害のある人にとって住み良い社会だと思います。幼稚園から障害者の施設等に遊びに行ったり、迎え入れたりと交流を定期的を持つことで見慣れることで、いろいろな人がいることを自然に理解されることだと思います。小学校、中学校、高等学校のプログラムに当たり前にならなければ、福祉の問題は難しいもので無くなると思います。それは中途障害になっても希望の持てる社会でもある様に思います。(女性・83歳・聴覚)
- ・ 教育の中で(中学生時)くらいのときにデイサービスとか、施設を多人数で見学とかではなく、高齢者、障害者等現場と一緒に過ごす場を持てたら良いと思います。(女性・73歳・上下肢)
- ・ ひと月に2回位役所の駐車場を使わせてもらっていますが、身体障害者手帳を警備員に提示しても、素直にハンコを押して下さらない時もあります。(男性・69歳・内部)

⑬ 障害者施策の推進、計画策定等に関すること

- ・ 介護保険制度が発足して、ようやく福祉の谷間から抜け出られると思ったのも束の間、介護保険制度が優先され、障害者自立支援法が使えないという現状に矛盾を覚えるようになりました。厚労省へは特定疾病の選定について再考をお願いしたいと思います。年齢によっては障害者総合支援法を使えるように、柔軟に制度を運用していただきたい。(女性・61歳・上下肢)
- ・ このようなアンケートは意義あることと思います。問題はここで示された課題をどう解決するかだと思います。(男性・65歳・上下肢)
- ・ このアンケート結果がどのように計画に反映されたのかの明確なフィードバックをしてほしい。良い計画ができることを楽しみにしています。(男性・33歳・上下肢)
- ・ この調査が今後の市政にどのように反映されるかが問題であって、調査そのものの効果は、結果を今後の市政にどう役立てるかであろうと思います。「調査結果と市政の改善」といった報告が「市政」の広報関連の紙上に掲示されることを期待しております。(男性・85歳・内部)
- ・ 障害の内容、程度によって要望も変わってくると思います。私の場合は毎日が無事である事が基本で、活動とか就労などは程遠い事ですので、自分自身にはあてはまらないと思いつつ、記入しました。(女性・67歳・上下肢)
- ・ 市だけではなく、国ごとのレベルでも障害者に対するサポートをもっと進めていくべきである。(法律の整理・施行で障害者を援助してほしい)(男性・48歳・聴覚)

【身体障害者】

- ・ 社会の障害者福祉に対する認識は深まっていると思いますが、障害者の社会貢献の可能性について、幅広く検討を継続して行くことが必要である。(男性・78歳・内部)
- ・ 健常者VS障害者といった関係で見るのではなく、現在の健常者が将来の障害者になる人々といった観点で障害者問題を考えていくことを進めていってください。そういった切り口での議論があまり展開されていないように思います。(男性・61歳・体幹)

⑭ その他

- ・ 障害者であれ、老人であれ、生涯明るく、健康で、元気のある西東京市でありたいものです。また、福祉都市として自信と誇りをもてる街でありたいものです。(男性・82歳・内部)
- ・ 同じ様な障害を持つ人々がどんな事を感じ、考え、行動しているのかをもっと知りたいです。どうしても前向きになれない部分を、前を向いて歩いていく為に必要な志みみたいなものを同じ障害を持つ人から教えて欲しいです。自分の人生をより幸福なものにする為に、何か良いキッカケがあると良いなと感じます。(女性・44歳・上下肢)
- ・ 障害者自身の心の持ち方だと思います。「助けて下さい」と云える自分になるよう、努力したいと思います。(女性・80歳・上下肢)
- ・ 1人暮らしの生活は常に外部と接触が大切だと思う。家の中にとじこもりはさけること。そのためには友人を作って、交流が大切と思う。又地域の人々とできるだけ多く接触して、自分の存在を知ってもらうことが必要であり、事がおきた時に助けを求められる関係も作っておくことだと思う。(女性・76歳・上下肢)
- ・ “障害者”であるとして過剰な支援にならないほうがいいのではないかな。勿論程度に応じてのことであるが、障害者には自立という目標が必要であり、何もかも頼っていくという姿勢は如何なものかと思う。当然必要な支援、施設は充実させて欲しいのですが。(男性・72歳・上下肢)
- ・ 身障者に対する体制の成度は整っていますが、個人、個人の心のケアが必要な人は沢山います。そこまで手がとどかないのでしょうか。(男性・65歳・体幹)
- ・ 障がい児ママは子どもが受けられる支援や助成などに、日々の忙しさや精神状態の不安定さで全く気が回らない。どこかでフォローして欲しい。(男性・3歳・聴覚障害)
- ・ 1才の頃から市の発達検診を半年ごと受けていましたが「異状なし」と言われ続け、結局3才になる頃、障害があることがわかりました。それまでわからなかったのが残念です。(男性・9歳・体幹)
- ・ ひいらぎでせっかくできた友だちとは、就学と同時に別れすることになり、貴重なコミュニティーを分断される。地域に根ざして理解を得るには、個々では心細く埋もれてしまう。ひいらぎと障がい福祉課、保健師、子育て支援課は連携していただきたい。(男性・3歳・聴覚障害)